

平 成 2 5 年 度

野々市市の教育概要

野々市市教育委員会

平成25年7月

愛と和の市民憲章

遥かに霊峰白山を仰ぐ野々市市は、古くから加賀の中心として栄えたところです。

わたくしたちは、この恵まれた自然環境と歴史・文化・産業の豊かなまちに住むことを大きな誇りとし、限りなく平和で繁栄することを願い、ここに市民憲章を定めます。

1. 郷土を愛し、緑ゆたかな

住みよいまちをつくりましょう。

1. 伝統を重んじ、教育文化の

香り高いまちをつくりましょう。

1. 健康を増進し、活気みなぎる

明るいまちをつくりましょう。

1. 勤労を尊び、感謝と奉仕の心で

温かいまちをつくりましょう。

1. 秩序を守り、笑顔でふれ合う

和やかなまちをつくりましょう。



市花木 ツバキ

目 次

I. 市勢概況	1
1. 野々市市のあゆみ	1
2. 人口と世帯数の推移	2
3. 平成25年人口ピラミッド	2
II. 予算の概要	3
1. 野々市市一般会計予算の規模	3
2. 施策の大綱	3
3. 教育費予算の規模	3
4. 一般会計予算額の構成比	4
5. 教育費予算額の構成比	4
6. 教育予算歳出の状況	5
III. 教育目標及び基本方針	6
IV. 教育行政	7
1. 教育委員会会議	7
2. 教育委員会機構図	7
3. 教育委員会事務事業点検・評価	8
V. 学校教育	9
1. 基本目標及び基本的施策	9
(1) 基本目標	9
(2) 基本的施策	9
2. 市立小・中学校教育目標	10
小学校・中学校の校名の由来、校旗及び校章の意味	13
3. 学校教育施策体系	15
(1) 教育活動	16
(2) 児童・生徒	18
(3) 教育環境	18
(4) 研 修	20
4. 教育施設	21
(1) 学校施設	21
(2) 通学区域	22
(3) 市立小・中学校別学級数・児童生徒数及び教職員数	22
(4) 市立小学校数・学級数・児童数及び教職員数	23
(5) 特別支援学級の状況	23
(6) 市立中学校数・学級数・生徒数及び教職員数	23
(7) 中学校卒業生進路状況	24
(8) 児童・生徒の推移	24
(9) 私立幼稚園学級数・園児数及び教職員数	25
(10) 石川県立明和特別支援学校学級数・児童・生徒数及び教職員数	25
(11) 石川県立野々市明倫高等学校学級数・生徒数及び教職員数	25
(12) 石川県公立大学法人石川県立大学学生数及び教職員数	26
(13) 石川県公立大学法人石川県立大学学科別学生数	26

(14) 金沢工業高等専門学校学級数・生徒数及び教職員数	28
(15) 金沢工業高等専門学校学科別生徒数	28
(16) 金沢工業大学学生数及び教職員数	29
(17) 金沢工業大学学科別学生数	30
VI. 生涯学習	31
1. 基本目標及び基本的施策	31
(1) 基本目標	31
(2) 基本的施策	31
2. 生涯学習施策体系	32
(1) 生涯学習体制の整備	33
(2) 家庭教育の推進	33
(3) 青少年健全育成の推進	34
(4) 地域教育力の活性化	35
(5) 成人教育の充実	36
(6) 公民館活動の充実	37
(7) 図書館活動の充実	38
(8) 女性センター事業の推進	40
(9) 社会教育団体の支援	40
(10) 社会教育施設の管理	41
青少年対策機構図	43
VII. 文 化	44
1. 基本目標及び基本的施策	44
(1) 基本目標	44
(2) 基本的施策	44
2. 文化施策体系	45
(1) 文化遺産の保全と活用	46
(2) 文化振興	52
VIII. スポーツ	60
1. 基本目標及び基本的施策	60
(1) 基本目標	60
(2) 基本的施策	60
2. スポーツ振興施策体系	61
(1) スポーツ振興体制の確立	62
(2) スポーツ活動の推進	62
(3) スポーツ団体の育成	64
3. 体育施設	69
(1) 社会体育施設	69
(2) 学校体育開放施設	72
資 料	
各種委員会委員等	74
歴代教育委員	82
市内施設住所・電話番号一覧	83
市内施設配置図	84

I. 市 勢 概 況

1. 野々市市のあゆみ

霊峰白山を望む手取扇状地の扇中央部に位置する野々市市には、縄文時代後期中葉より晩期全般にわたる大集落跡である史跡御経塚遺跡をはじめ、巨大な塔心礎や古瓦・土器類が無数に出土した白鳳時代の大寺院の跡である史跡末松廃寺跡など数多くの遺跡が所在しています。特に末松廃寺跡は、加賀の古代文化の鍵をにぎるものとして注目を浴び、我が国ではじめて造られた銀銭「和同開珎」も発見されています。

中世においては、加賀守護として富樫氏が活躍し、富樫政親が加賀一向一揆の衆徒に滅ぼされるまで富樫氏は野々市で国政を執りました。その結果、当地は戸数5千戸を越える加賀における政治・経済・文化の中心地として栄えたと伝えられています。

藩政時代は北陸道の一宿駅として名をとどめていましたが、明治末から大正にかけて全国にさきがけて耕地整理が行われ穀倉地帯として、名実ともに加賀米の中心地となって農業が盛んに行われてきました。

また昭和30年から32年にかけて野々市町と富奥村、郷村、押野村の一町三村が合併編入して新しい野々市町が生まれました。

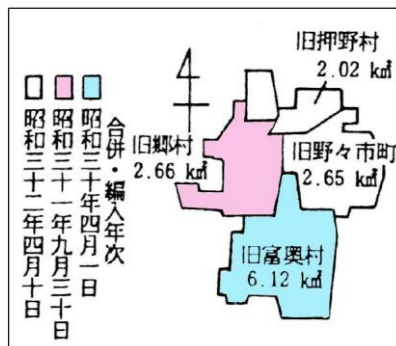
以来、交通の要衝として商業と近郊農業を産業の核として、土地区画整理事業の施行により急速に都市化が進む中、平成22年国勢調査で人口5万人を達成し、平成23年11月11日市制へと移行しました。また、住民同士のコミュニケーションをより生み出せるようにと、地域のふれあいを大切に考えて造られた庁舎は新しい交流・新しいまちづくりを生み出す場所として活躍しています。

誰もが気軽に安心して交流できる環境を整え、さらなる発展をめざしています。



市 章

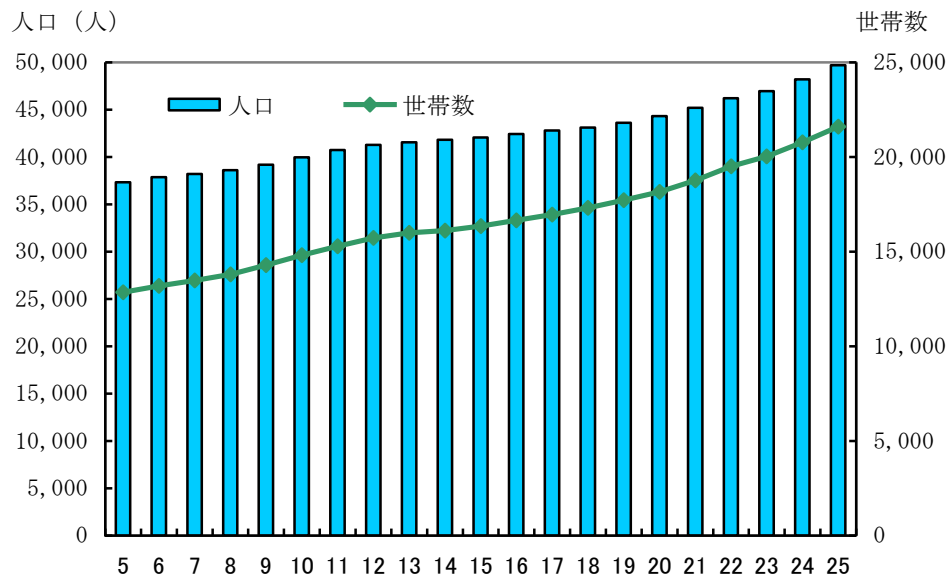
昭和35年6月15日制定。章は平仮名で“のの”を組合せ分銅を形成し、まちの融和と発展を象徴した簡潔清らかな意匠である。



野々市市は石川県のほぼ中央部に位置し、山海のない平坦地で北と東側を金沢市、南と西側を白山市とそれぞれ接しています。

北緯 36° 31' 45" 東西 4.5 km
東経 136° 37' 60" 南北 6.7 km
海拔最高/最低 49.9/9.8m
面積 13.56km² (国土地理院の調査による)
石川県面積に対する割合……0.32%

2. 人口と世帯数の推移

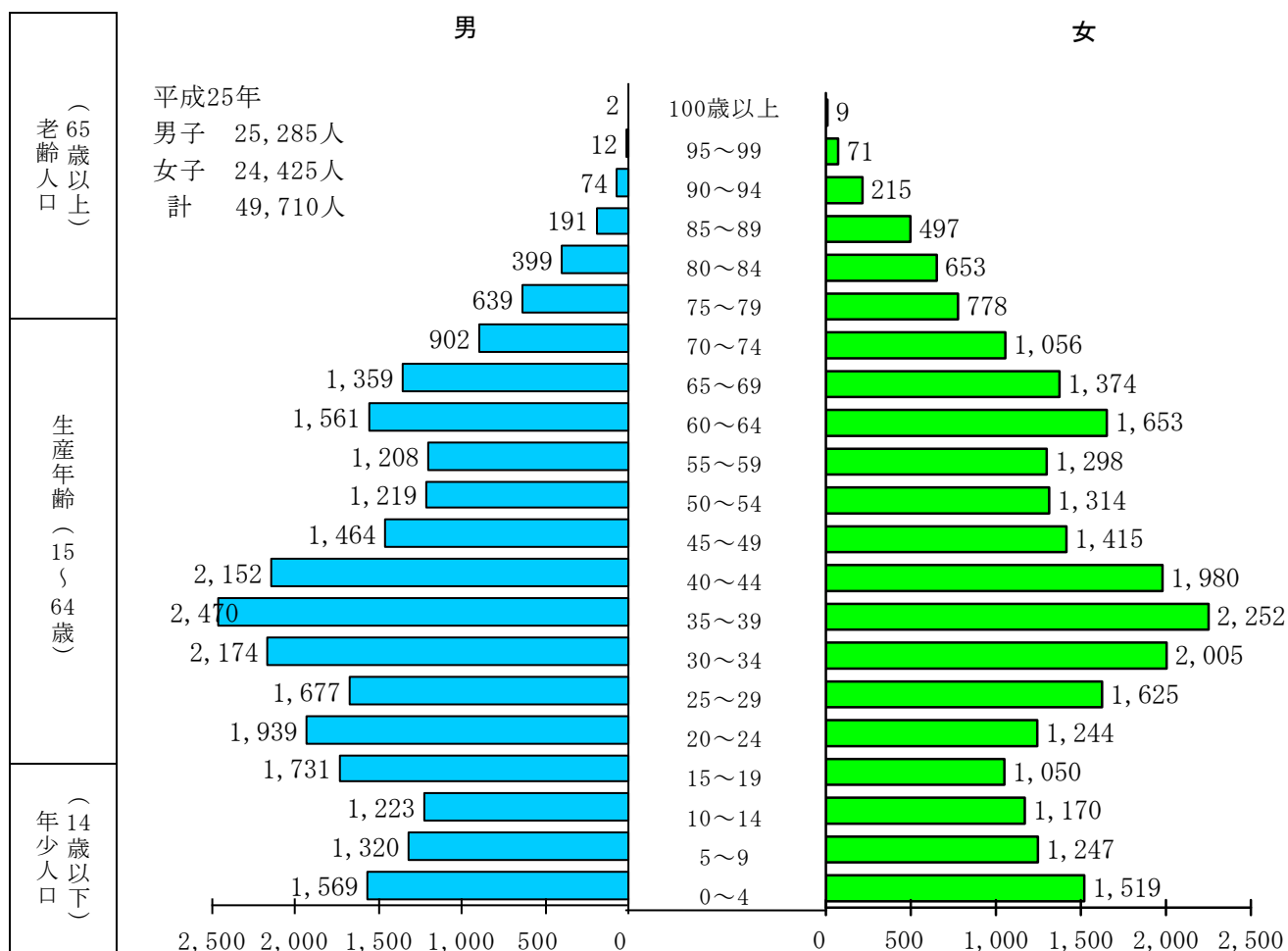


住民基本台帳より
各年3月31日現在

年	人口（人）	世帯数
5	37,342	12,855
6	37,883	13,195
7	38,198	13,487
8	38,616	13,795
9	39,190	14,284
10	39,969	14,811
11	40,746	15,284
12	41,280	15,729
13	41,549	15,994
14	41,813	16,121
15	42,069	16,343
16	42,449	16,652
17	42,795	16,952
18	43,106	17,308
19	43,627	17,726
20	44,341	18,153
21	45,192	18,768
22	46,216	19,504
23	46,948	20,042
24	48,196	20,785
25	49,710	21,601

3. 平成25年人口ピラミッド

平成25年3月31日現在



Ⅱ. 予 算 の 概 要

1. 野々市市一般会計予算の規模

平成25年度当初予算額	156億2,000万円
平成24年度当初予算額	150億0,000万円
対 前 年 度 比 較	6億2,000万円
増 減 率	1.0%の増

2. 施策の大綱

将来都市像「人の和で 椿十徳 生きるまち」

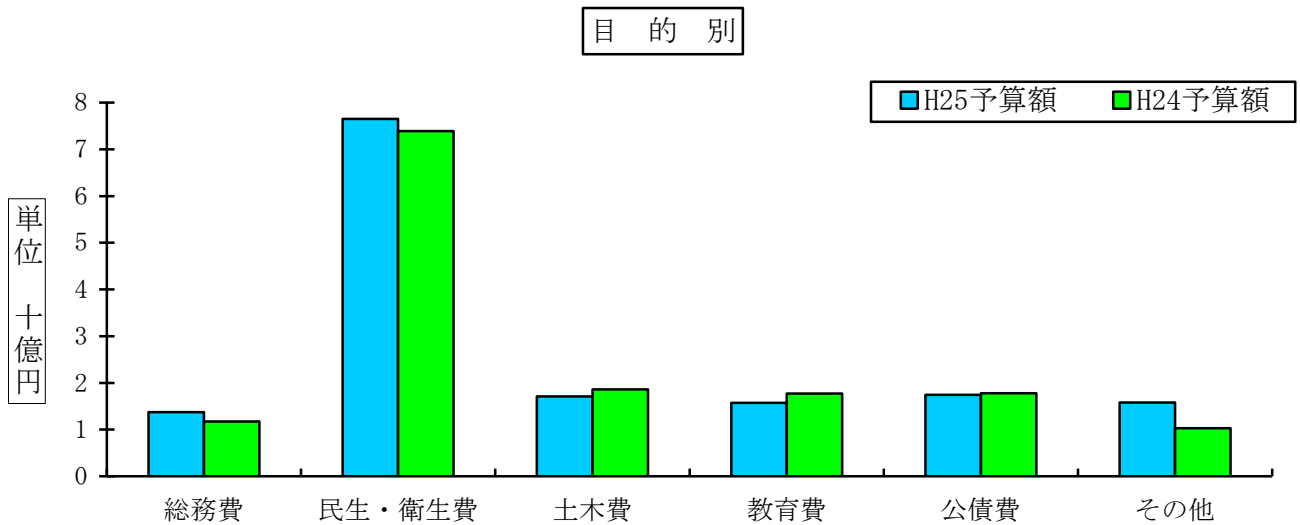
【政策】

- 1 一人ひとりが坦い手にまち【市民生活】
- 2 生涯健康心のかよう福祉のまち【福祉・保健・医療】
- 3 安心とぬくもりを感じるまち【安全安心】
- 4 環境について考える人が住むまち【環境】
- 5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】
- 6 野々市産の活気あふれるまち【産業振興】
- 7 くらし充実快適がゆきとどくまち【都市基盤】
- 8 住み続けたい！をみんなの声でつくるまち【行財政運営】

3. 教育費予算の規模

平成25年度当初予算額	15億6,690万1千円
平成24年度当初予算額	17億7,155万1千円
対 前 年 度 比 較	△ 2億 465万 円
増 減 率	11.6%の減
対 一 般 会 計 構 成 比	10.0%

4. 一般会計予算額の構成比

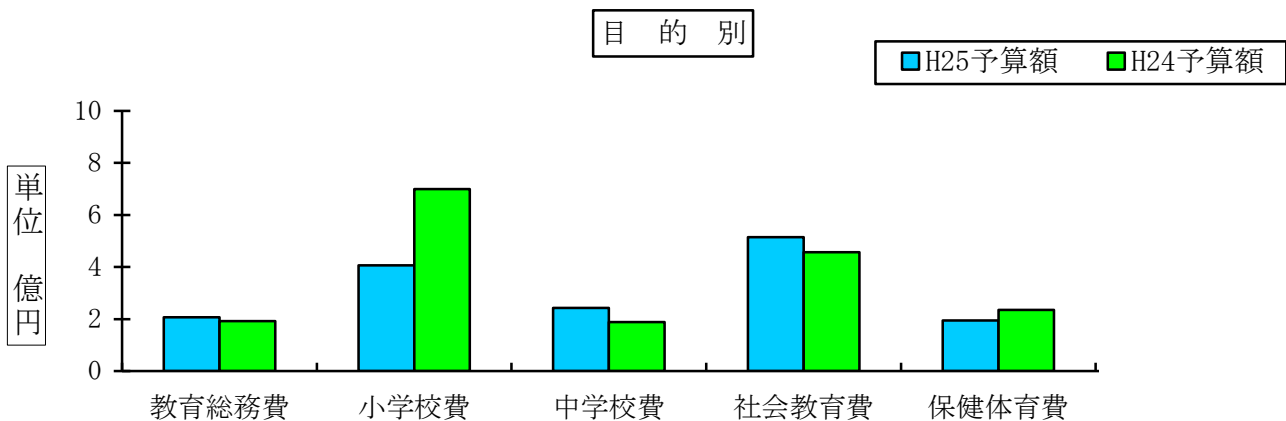


(単位: 千円、%)

区 分	平成25年度		平成24年度		増減C	増減率
	予算額A	構成比	予算額B	構成比	A - B	C / B × 100
総 務 費	1,369,307	8.8	1,173,794	7.8	195,513	16.7
民生・衛生費	7,647,692	49.0	7,387,455	49.2	260,237	3.5
土 木 費	1,711,468	11.0	1,860,146	12.4	△ 148,678	△ 8.0
教 育 費	1,566,901	10.0	1,771,551	11.8	△ 204,650	△ 11.6
公 債 費	1,743,391	11.2	1,779,276	11.9	△ 35,885	△ 2.0
そ の 他	1,581,241	10.1	1,027,778	6.9	553,463	53.9
合 計	15,620,000	100.0	15,000,000	100.0	620,000	4.1

その他（議会費、労働費、農林水産業費、商工費、消防費、災害復旧費、諸支出金、予備費）

5. 教育費予算額の構成比



(単位: 千円、%)

区 分	平成25年度		平成24年度		増減C	増減率
	予算額A	構成比	予算額B	構成比	A - B	C / B × 100
教育総務費	207,418	13.2	191,539	10.8	15,879	8.3
小 学 校 費	406,182	25.9	699,845	39.5	△ 293,663	△ 42.0
中 学 校 費	242,820	15.5	188,224	10.6	54,596	29.0
社会教育費	515,238	32.9	456,951	25.8	58,287	12.8
保健体育費	195,243	12.5	234,992	13.3	△ 39,749	△ 16.9
合 計	1,566,901	100.0	1,771,551	100.0	△ 204,650	△ 11.6

6. 教育予算歳出の状況

(単位：千円)

区 分	平成25年度		平成24年度		増減	前年比 (%)
	当初予算額 (A)	構成比 (%)	当初予算額 (B)	構成比 (%)	A－B (C)	C／B×100
教育費	1,566,901	79.25	1,771,551	97.39	△ 204,650	△ 11.55
1 教育総務費	207,418	13.18	191,539	10.53	15,879	8.29
1 教育委員会費	3,171	0.20	2,659	0.15	512	19.26
2 事務局費	179,385	11.40	163,570	8.99	15,815	9.67
3 事務局振興費	13,672	0.87	12,986	0.71	686	5.28
4 特別支援教育費	56	0.00	65	0.00	△ 9	△ 13.85
5 教育センター費	11,134	0.71	12,259	0.67	△ 1,125	△ 9.18
2 小学校費	406,182	25.81	699,845	38.47	△ 293,663	△ 41.96
1 管理費	292,948	18.61	584,394	32.13	△ 291,446	△ 49.87
2 教育振興費	99,724	6.34	105,641	5.81	△ 5,917	△ 5.60
3 給食センター費	13,510	0.86	9,810	0.54	3,700	37.72
3 中学校費	242,820	15.43	188,224	10.35	54,596	29.01
1 管理費	124,655	7.92	73,484	4.04	51,171	69.64
2 教育振興費	36,480	2.32	43,940	2.42	△ 7,460	△ 16.98
3 給食センター費	81,685	5.19	70,800	3.89	10,885	15.37
4 社会教育費	515,238	32.74	456,951	25.12	58,287	12.76
1 社会教育総務費	82,578	5.25	87,541	4.81	△ 4,963	△ 5.67
2 青少年教育費	11,568	0.73	11,830	0.65	△ 262	△ 2.21
3 社会教育振興費	90,099	5.72	79,261	4.36	10,838	13.67
4 図書館費	19,707	1.25	19,730	1.08	△ 23	△ 0.12
5 文化財保護費	95,425	6.06	125,508	6.90	△ 30,083	△ 23.97
6 文化振興費	215,861	13.71	133,081	7.32	82,780	62.20
5 保健体育費	195,243	12.40	234,992	12.92	△ 39,749	△ 16.92
1 保健体育総務費	44,508	2.83	49,333	2.71	△ 4,825	△ 9.78
2 保健体育施設費	133,448	8.48	168,102	9.24	△ 34,654	△ 20.61
3 保健体育振興費	17,287	1.10	17,557	0.97	△ 270	△ 1.54
消防費						
1 消防費						
2 消防施設費	403,169	20.39	0	0.00	403,169	前年度なし
労働費						
1 労働諸費						
2 女性センター費	7,056	0.36	47,439	2.61	△ 40,383	△ 85.13

Ⅲ. 教育目標及び基本方針

【教育目標】

未来を担う子どもたちが健全に成長できるよう知・徳・体の調和のとれた児童生徒の育成をめざします。さらに市民一人ひとりが互いの個性や人間性を尊重しながら、生涯にわたって自らの人格の形成に励み、平和で豊かな地域社会づくりに貢献できる人づくりをめざします。

【基本方針】

1. 確かな学力、豊かな人間性、健康・体力をバランスよく身につけた児童生徒の育成をめざします。
2. 市民参画の生涯学習活動を展開するための環境整備と学習機会の充実を図ります。
3. 家庭・地域の教育力を高め、青少年が心豊かに育つまちづくりを進めます。
4. 郷土の伝統芸能を保存継承するとともに文化財の保護活用を進め、市民の地域文化に対する理解の深まりをめざします。
5. 芸術文化に親しむ機会を提供するとともに、新しい市民文化の自発的な創造をめざします。
6. 生涯にわたり、健康でいきいきと生活するため、誰もが参画しやすいスポーツ・レクリエーション活動などの推進に努めます。

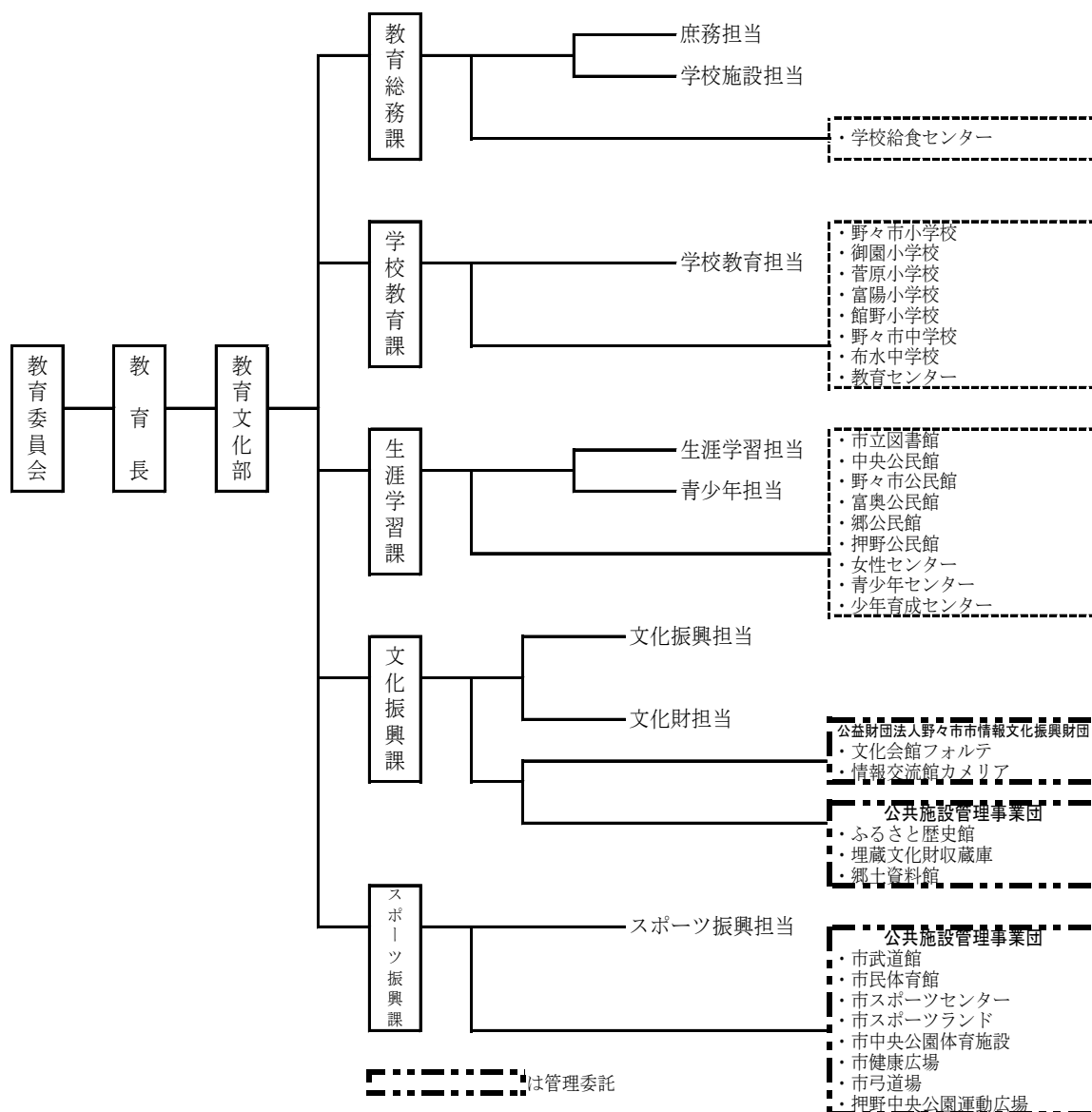
IV. 教 育 行 政

1. 教育委員会会議

各年12月末日現在（単位：回、件）

年	招 集 回 数		議 案
	定 例 会	臨 時 会	
20	12	5	30
21	12	7	27
22	12	4	26
23	12	4	24
24	12	3	31

2. 教育委員会機構図



3. 教育委員会事務事業点検・評価

教育委員会の責任体制の明確化等を柱とした、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が平成 20 年 4 月 1 日に施行され、これにより「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表すること」が義務付けされました。

これに伴い、野々市市教育委員会では平成 20 年度より教育委員会の活動及び所管事務について、その管理及び執行状況の点検及び評価を行い公表しています。今後も委員会事業に伴う活動・事務に対する点検・評価を行い議会への提出や公表を通じて市民にわかりやすく教育委員会活動を説明していくとともに、個々の事務を検証・改善しながら、本市の教育基本方針の実現に向け、教育の充実と振興をめざします。

V. 学 校 教 育

1. 基本目標及び基本的施策

(1) 基本目標

地域や学校の実態及び児童生徒の心身の発達の段階や特性を十分考慮して、確かな学力（知）・豊かな人間性（徳）・健康体力（体）の調和のとれた教育活動を展開し、変化の激しいこれからの社会を生き抜くための「生きる力」を育成します。

(2) 基本的施策

① 「確かな学力」を身につけた児童生徒の育成

- ・ 基礎的・基本的な知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学習意欲の向上に努めます。
- ・ 運動・スポーツの資質や能力の基礎を養うため、発達段階に応じた体系的な指導に努めます。
- ・ 一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な特別支援教育の充実に努めます。

② かかわりの中で豊かな人間性を育てる教育の推進

- ・ 9年間を見通した情報モラル教育を推進します。
- ・ 規範意識や他人を思いやる心を育む道徳教育を推進します。
- ・ 家庭や地域での体験活動、異年齢集団による活動、ボランティア活動、障害のある人や他国の人との交流などを推進します。

③ 教育指導体制の充実と教職員の資質向上

- ・ 教職員研修・教育相談・教育支援等の教育センター機能の充実に努めます。
- ・ 学校研究の推進や研修の充実により、教職員の指導力の向上を図ります。

④ 教育環境の充実

- ・ 学校図書館の充実と利用促進を図ります。
- ・ デジタル教材を活用した授業に取り組むとともに、校務の情報化をはかり、効果的なICT活用を図ります。
- ・ 児童生徒増に伴う校舎の増築や大規模改造事業、教室の空調設備の設置など学習環境の充実に努めます。

⑤ 地域に根ざした学校づくり

- ・ 「子ども憲章」をいかし、ふるさと教育を推進します。
- ・ 家庭や地域の人々との協力、学校間の連携や交流を進めるなど開かれた学校づくりに努めます。

2. 市立小・中学校教育目標

野々市小学校

確かな学力と豊かな人間性を身につけた、たくましい子を育てる。

- (1) 健康でやりぬく子（体）
 - ・体や健康に関心を持ち、進んで運動に親しむ子
 - ・目標達成に向けて、最後まで取り組む子
- (2) 心豊かな考える子（知）
 - ・感性豊かで、思いやりのある子
 - ・進んで学び、課題を解決しようとする子
- (3) よりよい社会を築く子（徳）
 - ・集団や社会の一員として自覚ある行動がとれる子

御園小学校

未来をたくましく生きぬく人間の育成

— 自ら考え、正しく判断し、実践力のある心豊かな子の育成 —

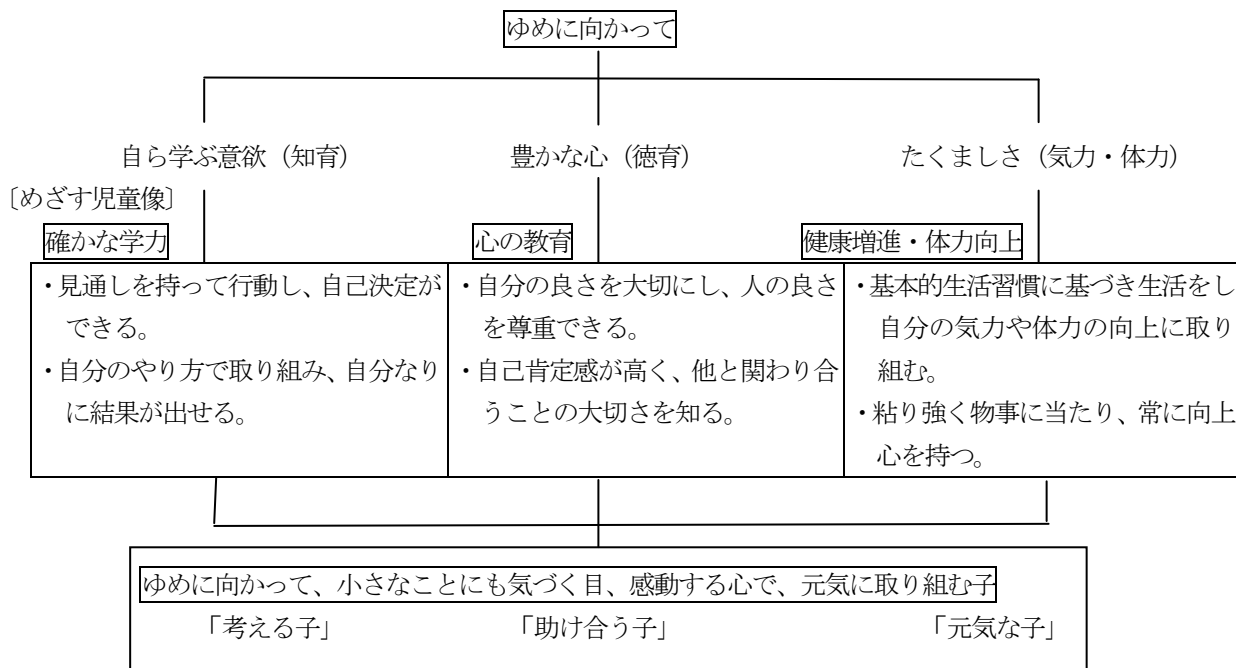
「やさしい心、あふれる笑顔」

- | | | |
|-----------------------|---------|---------|
| (1) 思いやりをもって、人とかかわる子 | 「やさしい子」 | 徳 やさしく |
| (2) 進んで学ぶ子 | 「考える子」 | 知 かしこく |
| (3) 健康に関心を持ち、心と体を鍛える子 | 「元気な子」 | 体 たくましく |

菅原小学校

〔めざす学校像〕

ゆめに向かって、豊かな心と自ら学ぶ意欲を持ち、たくましく活動する子を育てる。



富陽小学校

「自ら考え、実践する子」の育成

〔めざす児童像〕

- (1) かんがえる子
- (2) やさしい子
- (3) たくましい子

〔めざす学校像〕

- (1) 活力があり、豊かな学びのある学校
- (2) 心が通い合い一人一人が生き生きとした学校
- (3) 教育環境が整い、夢と希望が溢れる学校
- (4) 地域とともに歩み、信頼される学校

〔めざす教師像〕

- (1) 子どもをよく理解し大切にする教師
- (2) 明るく、心身共に健康な教師
- (3) 教育に使命感をもち、人間性豊かな教師
- (4) 研修に励み、創意工夫する教師

館野小学校

「心豊かでたくましく、すすんで学び合う子」の育成

～ かかわり合い、学び合い、高め合い ～

- 〔めざす児童像〕
- ・ 明るく 　　いつも笑顔で接し、友達を思いやり、力を合わせる子
 - ・ 正しく 　　進んで学び、高め合い、考えて正しく行動する子
 - ・ たくましく 健康な体と心を持ち、最後までやりぬくたくましい子

- 〔めざす学校像〕
- ・ 子どもたちの笑顔があふれ、「大好きな私たちの学校」と思える学校
 - ・ 子どもたちが夢を持ち、楽しく、安全で、安心して学べる学校
 - ・ 保護者、地域と連携し、信頼される開かれた学校

- 〔めざす教職員像〕
- ・ 明るい笑顔と思いやりをいつも忘れない教師
 - ・ 自らの指導力向上を図り、互いに高め合い協力し、教育目標の具現化に向けて組織的に取り組む教師
 - ・ 子ども一人ひとりを大切にし、子ども、保護者と心を通い合わせ、信頼される教師

野々市中学校

志を高くし、郷土を愛する生徒を育てる

教育方針

- (1) 教育者としての使命を自覚し、人格の陶冶と高い指導力を身につけるため日々の研鑽に努める。
- (2) 人権尊重の精神に徹し、あらゆる差別を許さない生徒を育てる。
- (3) 自問教育を実施し、自発性を引きだし、自主・自立、思いやりのある心を持つ生徒を育てる。

布水中学校

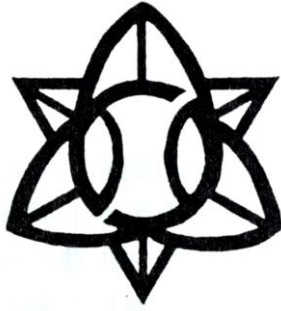
高い理想を持ち、新しい未来社会に役立つ実力を身につけた生徒の育成

校 訓

- | | |
|--|----|
| (1) 確かな学力と体力を身につけ、未来への創造に向かって、自らを高める意欲を持つ生徒の育成 | …… |
| (2) 義務と責任をわきまえ、自主独立の気質と行動力を持つ生徒の育成 | …… |
| (3) 正義を愛し、正しい判断力をもち、厳しく自律することのできる生徒の育成 | …… |
| (4) 互いに敬愛し、信じ合い、切磋琢磨して美しい友情を温め得る生徒の育成 | …… |
| (5) ルールを守り、環境の浄化に努め、郷土を愛する豊かな情操に満ちた生徒の育成 | …… |

向	上
独	立
自	律
友	愛
公	聴

小学校の校名の由来、校旗及び校章の意味



管内小学校5校の校章、校旗は雪の結晶と麻の葉っぱを図案化したものに市章を組み合わせたものです。

雪の結晶はけがれのない素直さを表わし、麻の葉っぱは、雨に濡ればますます強くなる麻の繊維のように、何ごとにもくじけず最後まで頑張り抜く強い心を象徴したものです。

野々市小学校

昭和36年4月1日、野々市小学校と富奥小学校が統合する際、親しまれるように町名の野々市町をとり、この校名が付けられました。翌年には、郷小学校が野々市小学校と統合しました。

校旗の色は、緑です。

御園小学校

当校の建設地一帯は、耕地整理前の小高い丘であり、古老達はその一帯をみそと伝え聞いてきました。その丘には大桜があり、住民の憩いの場所だったということです。また、みそのとは、過去に献穀田があったためと言われています。昔から親しまれてきた地名をとり、この校名が付けられました。

校旗の色は、紺です。

菅原小学校

昭和39年に、野々市町本町の一部からできた菅原町に当校を建設したため、一般に親しまれている地名をとり、この校名が付けられました。

また、菅原の地名は、平安時代に加賀権守を兼任した菅原道真公を、天神、田の神として祀ったことに由来しています。

校旗の色は、赤です。

富陽小学校

歴史古き富樫郷の南に位置し、四季に富む里に子どもたちが豊かな希望をもち、健やかに学び、太陽の子のように明るくたくましく育つことを願って、この校名が付けられました。

校旗の色は、黄色です。

館野小学校

野々市市は、中世における加賀文化の発祥地として隆盛を遂げた加賀国の守護・富樫一族の館があり、本校の運動場に隣接する土地も古くからタチナカと呼ばれ、富樫家善の館があったと伝えられています。

富樫氏の人徳と残された幾多の輝かしい文化を偲び、このゆかりある地で、児童が伸び伸びと健やかに学び育つことを願い、タチナカの「館」と野々市の「野」を合わせこの校名が付けられました。

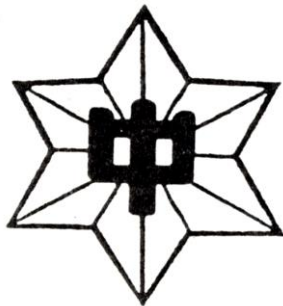
校旗の色は、紫です。

中学校の校名の由来、校旗及び校章の意味

野々市中学校

昭和31年3月31日町村合併により、石川県石川郡野々市町立野々市中学校と石川県石川郡富奥村立富奥中学校が廃校となり、昭和31年4月1日より新たに石川県石川郡野々市町立野々市中学校が設置されました。当時、町に一校の中学校であったため、町名をそのままとってこの校名が付けられました。

翌年には、旧石川郡押野村の御経塚・野代・押越・押野丸木が野々市町へ編入しました。



校旗はスクールカラーの茄紺色で染め抜いてあり、校章は麻の葉を図案化したものです。

野々市市は、古くは麻の栽培が盛んな所でした。麻は非常に成長が速く、強い繊維で水を含むと更に強度を増します。また、これで織った布は高貴な感じがします。

このような麻の特性から、本校の生徒が麻のように「誰からも好かれ」、「大きく、強く」成長して「上品さと誇り」を持ち、苦境に立ったとき更に「勇気ある人間」になることを町の皆が願い、その葉を図案化しました。

布水中学校

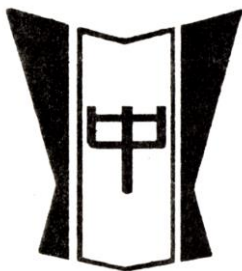
布は布市の「布」であり、布は白く汚れなく人々を優しく包み、また校舎の横を流れる木呂川は霊峰白山の水を受け清くさらさらとさわやかに流れ、時として急流と化すたくましさがあります。

ここに学ぶ生徒は、白妙のごとく汚れなく優しく人をいたわり、清流のごとく清らかで、また激流にも耐える心と体を培い、学び、励むことを願い、この校名が付けられました。

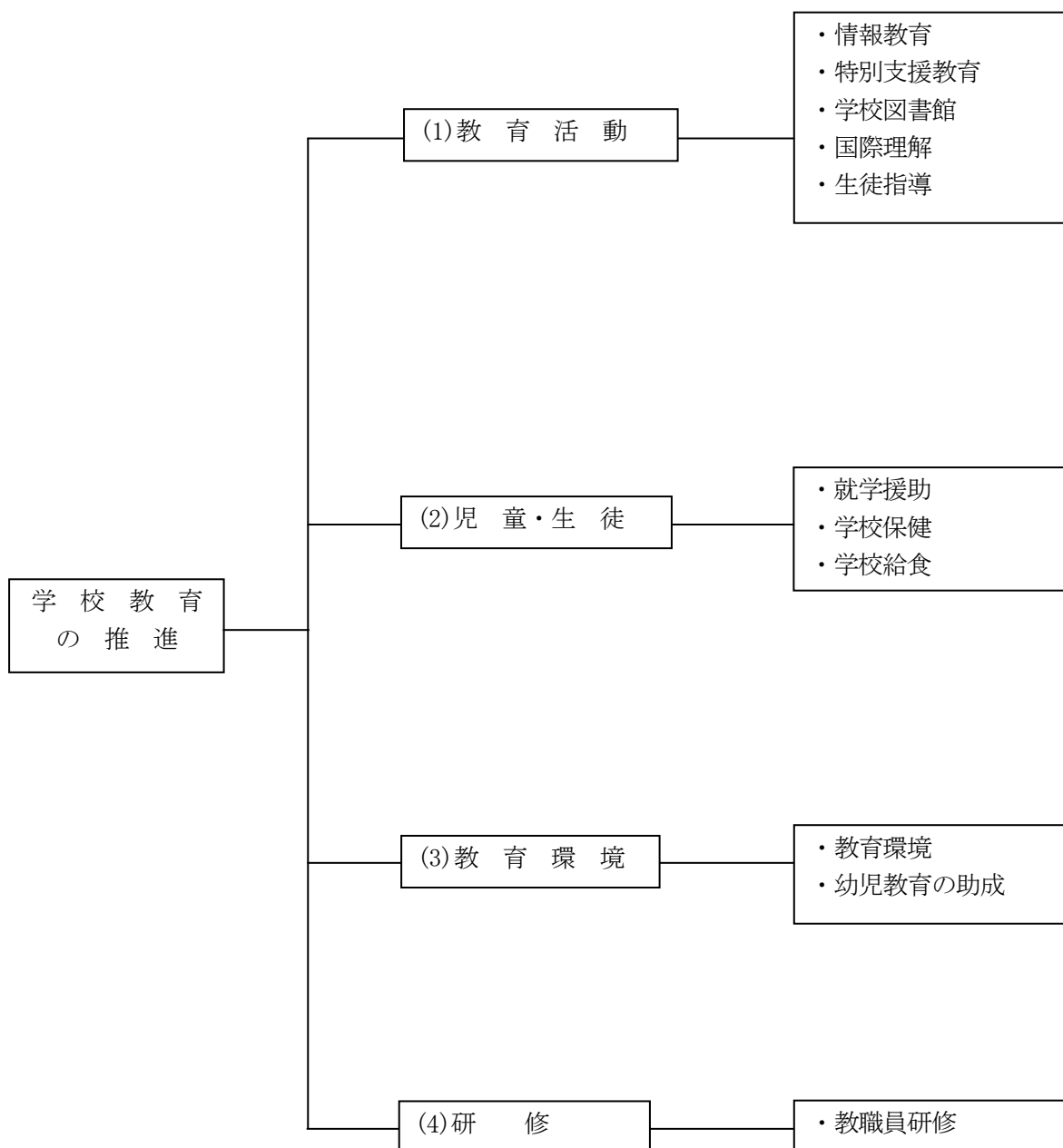
校旗はスクールカラーの水色に近い青色と白色を組み合わせました。

校章は布水中学校の水の文字を図案化したもので、左右対象で縦長の形は、向上を表現しています。

襟章の色は、青は若い力、白は誠実、赤は友愛を表現しています。



3. 学校教育施策体系



(1) 教育活動

① 情報教育

ア 情報教育の環境整備

市内小中学校のすべての普通教室、特別教室にネットワークを構築し、コンピュータを設置することにより、いつでも、どこでも、コンピュータやインターネット等が活用できる環境を整備します。

平成12年度 校内LANの整備

平成18年度 中学校2校パソコン教室コンピュータ等更新

平成20年度 小学校5校パソコン教室コンピュータ等更新

小学校5校へ授業支援システムの導入と情報教育支援員の配置

小中学校7校に学校図書館蔵書管理システムの導入

平成21年度 全教職員に校務用コンピュータ配置

イ 教育情報ネットワークの構築

平成21年度 小中学校教職員全員にコンピュータを配置し、LANにより学校内での教育情報の共有化を図りました。

② 特別支援教育

ア 特別支援教育支援員の配置

市内小中学校に15名配置（平成25年度）。発達障害など個別に支援が必要な児童生徒を中心に支援します。

イ なかよし教室の開催

3歳～15歳までの幼児・児童生徒及びその保護者を対象に、知的、情緒及び運動などに発達の遅れがあると認められる幼児等に対して総合的な指導や訓練を行います。毎週土曜日に開催。

③ 学校図書館

ア 小・中学校図書館の整備

学校図書館業務として、小中学校に図書館司書を各1名配置。また、図書購入予算の充実につとめます。

平成15年度 図書館司書の配置時間の拡大、全学校図書館にエアコン設置

平成17年度 図書館司書の雇用形態の改善（臨時職員から嘱託職員へ雇用形態を変更）

平成20年度 小中学校7校に学校図書館蔵書管理システムの導入

④ 国際理解

ア 国際交流事業

国際化の進む中、諸外国の人々と交流し、協力し合うことの重要性が確認される今日、次の世代を担う児童に国際的な視野をもってもらうことを目的とし、昭和60年の野々市小学校と深圳小学との友好校締結以来、交流事業を行います。

平成21年度 中国深圳小学より教育友好訪問団の招致 児童12名 引率他10名

平成22年度 中国深圳小学へ教育友好訪問団の派遣 児童12名 引率他9名

平成23年度 中国深圳小学より教育友好訪問団の招致 児童11名 引率他10名

平成24年度 中国深圳小学へ教育友好訪問団の派遣 中止

平成25年度 中国深圳小学より教育友好訪問団の招致 児童11名 引率他10名（予定）

イ 小学校外国語活動の推進

平成 23 年度より新教育課程に位置づけられている 5・6 年生小学校外国語活動の円滑な実施と、これまで実施されてきた 3・4 年生英語活動を継続して実施することで、本市児童のコミュニケーション能力の素地を養い、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成をめざします。

3～4 年生 10 時間程度の実施

5～6 年生 35 時間程度の実施

各校に週 2 回、外国語指導助手（F L T）を派遣します。

ウ 英語指導助手の招致（中学校）

外国語教育、とりわけ英語の教育は、国際化が進む環境の中でその重要性が高まっています。英語指導助手による生きた英語にふれ、語学力の向上を図るとともに国際化時代に対応した知識、感覚の向上を図ります。

英語指導助手 1 名（A L T）（中学校 2 校に 1 ヶ月ずつ交互派遣）

⑤ 生徒指導（いじめ・不登校等）

ア 派遣教育相談員配置事業

不登校およびその傾向にある児童生徒とその保護者に対し、教育相談や学校生活への適応指導にあたります。平成 24 年度から中学校に配置。

イ スクールカウンセラー活用事業

いじめや不登校等生徒の問題行動等の対応のため、生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識及び経験を有するスクールカウンセラーを配置します。（県より派遣）

平成 25 年度派遣校 野々市小学校、御園小学校、菅原小学校、富陽小学校
野々市中学校、布水中学校

ウ 教育相談

- ・不登校及びその傾向を示す児童生徒の相談
- ・子どもの悩みや不安に関する保護者の相談
- ・教職員の相談

エ 教育支援センター「ふれあい教室」

悩みを抱えていたり、心が不安定で学校に居場所を失っている児童生徒を支援します。そして、安心できる居場所の中で、自己のペースを取り戻し、様々な体験活動を通して社会性を身につけ、社会的自立や学校復帰をめざします。

(2) 児童・生徒

① 就学援助

経済的理由により困窮していると認められる児童・生徒の保護者に対して必要な援助を行い義務教育の円滑な実施を図ります。

就学援助費（支給者）	580 名	44,404 千円（平成 24 年度実績）
特別支援教育就学奨励費（支給者）	21 名	1,428 千円（平成 24 年度実績）

② 学校保健

児童生徒が健康で、健やかな生活が送れるよう各種の健康診断を実施します。

平成 25 年度 学校保健事業

時 期	事 業	対 象	
		小学校	中学校
4 月～6 月	◎ 身体計測	全 員	全 員
	◎ 聴力検査	1 年～5 年	1 年、3 年
	◎ 視力検査	全 員	全 員
	◎ 寄生虫検査	1 年～3 年	—
	◎ 内科	全 員	全 員
	◎ 歯科検診	全 員	全 員
	◎ 耳鼻科検診	1・4 年	1 年
	◎ 眼科検診	問診により必要者	問診により必要者
	◎ 結核検診（問診・検診）	全 員	全 員
	◎ 心臓検診	1 年	1 年
6 月～7 月	◎ 尿検査	全 員	全 員
	◎ 血液検査（貧血・コレステロール・肝機能等）	—	2 年（希望者）
9 月	◎ 身体計測	全 員	全 員
10 月	◎ 就学時健診	就学予定者	—
	◎ 視力検査	全 員	全 員
1 月	◎ 身体計測	全 員	全 員

③ 学校給食

安全・安心の学校給食の提供

地元産物の積極的活用

学校給食と連携した食に関する指導

(3) 教育環境

① 教育環境

ア 学校の施設整備

小中学校の保守管理を計画的に進め、ゆとりある施設の充実を図ります。

- ・平成12～13年度 御園小学校地震補強・大規模改造工事
- ・平成12～17年度 図書室・職員室・給食室等のエアコン設置工事
- ・平成13～14年度 野々市町学校給食センター建設工事
- ・平成14～15年度 野々市中学校地震補強・大規模改造工事（第1期）

- ・平成15年度 野々市小学校耐力度調査
- ・平成16年度 菅原小学校耐震診断
- ・平成16～17年度 野々市中学校地震補強・大規模改造工事（第2期）
- ・平成17年度 布水中学校屋上防水工事
- ・平成18年度 館野小学校増築等工事、P F I 導入可能性調査
- ・平成19年度 野々市小学校施設整備事業（P F I 事業 実施方針等公表）
菅原小学校地震補強・大規模改造工事実施設計
富陽小学校音楽室エアコン設置工事
- ・平成20年度 菅原小学校地震補強等工事
御園小学校屋内運動場耐震診断
学校給食センター増築等工事实施設計
野々市小学校施設整備事業（P F I 事業 事業者選定・基本設計）
- ・平成21年度 野々市小学校施設整備事業（P F I 事業 実施設計・建設工事）
菅原小学校地震補強等工事
学校給食センター増築等工事
御園小学校屋内運動場地震補強等工事实施設計
野々市中学校屋内運動場耐震診断、地震補強等工事实施設計
- ・平成22年度 野々市小学校施設整備事業（P F I 事業 建設工事）
御園小学校屋内運動場地震補強等工事
野々市中学校屋内運動場地震補強等工事
富陽小学校増築等工事实施設計
小学校給食センターP F I 導入可能性調査
- ・平成23年度 富陽小学校増築等工事
（仮称）野々市市小学校給食センター施設整備・運営事業（P F I 事業 実施方針等公表）
館野小学校普通教室空調機器設置工事
- ・平成24年度 富陽小学校増築等工事
（仮称）野々市市小学校給食センター施設整備・運営事業（P F I 事業 事業者選定・基本設計・実施設計）
布水中学校大規模改造等工事（実施設計・工事）
野々市中学校校舎空調設置工事（実施設計）
野々市中学校障害者対策工事（実施設計・工事）

イ 安全管理の充実

子どもたちの安全確保のための必要な条件整備の充実を図ります。

- ・来校者への対応や登下校時の安全確保
- ・学校開放時における安全対策
- ・学校、家庭、地域、関係機関と連携しながら学校の管理体制の確立

ウ 学校備品の充実

豊かな教育環境の現実のため、備品・教材教具の充実に努めます。

② 幼児教育の助成

ア 幼児教育の充実

幼稚園教育の振興に資するため補助を行います。

私立幼稚園就園奨励費	436名	40,134千円	(平成24年度実績)
私立幼稚園運営費補助金	市内2園	2,110千円	(平成24年度実績)

(4) 研 修

① 教職員研修

今日的教育課題に対応した研修や専門的な知識・能力をより一層身につけることにより、教員の資質や指導力の向上を図ります。

- ・学校経営研修
- ・生徒指導研修
- ・学校研究研修
- ・授業づくり研修
- ・新任者研修
- ・初任者研修
- ・特別支援教育支援員研修など

4. 教育施設

(1) 学校施設

(平成25年5月1日現在)

区分	施設名	設置年月日	敷地面積	建物構造	規模 (保有面積)
小学校	野々市小学校	昭和36年4月	15,791㎡	校舎 R4階 体育館 R	7,864㎡ 1,571㎡
	御園小学校	昭和53年4月	19,937㎡	校舎 R4階 体育館 R	5,108㎡ 1,410㎡
	菅原小学校	昭和56年4月	18,004㎡	校舎 R4階 体育館 R	5,378㎡ 1,667㎡
	富陽小学校	昭和57年4月	21,757㎡	校舎 R3階 体育館 R	8,358㎡ 1,875㎡
	館野小学校	昭和59年4月	20,089㎡	校舎 R4階 体育館 R	5,569㎡ 1,489㎡
中学校	野々市中学校	昭和31年4月	24,016㎡	校舎 R4階 体育館 R	7,801㎡ 2,163㎡
	布水中学校	昭和59年4月	28,262㎡	校舎 R4階 体育館 R	6,730㎡ 2,194㎡
野々市市学校給食センター		平成15年4月	2,371㎡	R2階	1,399㎡
教育センター		平成5年3月	546㎡	R2階	644㎡

公立学校施設の実態調査より（教育センター除く）



野々市小学校



御園小学校



菅原小学校



富陽小学校



館野小学校



野々市中学校



布水中学校



学校給食センター



教育センター

(2) 通学区域

学 校 名	通 学 区 域
野々市小学校 本町五丁目3番1号 ☎ 248-0084	本町四～六丁目、若松町(22、23番)、白山町、三納一～三丁目、位川、太平寺一～四丁目、堀内一～五丁目、田尻町、郷町、蓮花寺町、柳町、徳用町
御園小学校 稲荷四丁目128番地 ☎ 248-3201	稲荷一～四丁目、三日市町、二日市一丁目、二日市町、長池、押越一～二丁目、野代一～三丁目、御経塚一～五丁目
菅原小学校 菅原町20番1号 ☎ 246-6066	本町二～三丁目、高橋町、扇が丘、住吉町、菅原町、矢作一～四丁目
富陽小学校 中林五丁目70番地 ☎ 246-4380	上林一～五丁目、中林一～五丁目、末松一～三丁目、藤平、藤平田一～二丁目、清金一～三丁目、下林一～四丁目、新庄一～六丁目、栗田一～六丁目
館野小学校 押野三丁目71番地 ☎ 248-0622	本町一丁目、若松町(1～21、24、25番)、横宮町、押野一～七丁目
野々市中学校 三納三丁目1番地 ☎ 246-0115	本町五丁目、扇が丘、菅原町、住吉町、白山町、三納一～三丁目、藤平、位川、清金一～三丁目、末松一～三丁目、太平寺一～四丁目、栗田一～六丁目、下林一～四丁目、新庄一～六丁目、藤平田一～二丁目、中林一～五丁目、上林一～五丁目、矢作一～四丁目
布水中学校 押野二丁目100番地 ☎ 248-0039	本町一～四丁目、本町六丁目、若松町、横宮町、高橋町、稲荷一～四丁目、堀内一～五丁目、田尻町、三日市町、二日市町、二日市一丁目、徳用町、郷町、蓮花寺町、柳町、長池、押野一～七丁目、押越一～二丁目、野代一～三丁目、御経塚一～五丁目

(3) 市立小・中学校別学級数・児童生徒数及び教職員数

平成25年5月1日現在 学校基本調査より(単位:人)

区 分	学級数	児 童 生 徒 数			教 員 数			職員数
		男	女	総数	男	女	総数	
野々市小学校	20(3)	277	273	550	12	17	29	4
御園小学校	21(2)	317	304	621	14	17	31	7
菅原小学校	17(2)	211	213	424	11	16	27	6
富陽小学校	28(3)	434	416	850	16	24	40	7
館野小学校	19(2)	237	251	488	13	16	29	6
小学校計	105(12)	1,476	1,457	2,933	66	90	156	30
野々市中学校	21(2)	332	322	654	21	21	42	4
布水中学校	22(3)	373	311	684	21	21	42	4
中学校計	43(5)	705	633	1,338	42	42	84	8
合 計	148(17)	2,181	2,090	4,271	108	132	240	38

※注()は特別支援学級再掲

(4) 市立小学校数・学級数・児童数及び教職員数

各年５月１日現在（単位：人）

年度	学校数	学級数	児 童 数			教 員 数			職 員 数		
			男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数
21	5	101(12)	1,441	1,386	2,827	59	93	152	0	33	33
22	5	98(11)	1,435	1,394	2,829	50	95	145	1	36	37
23	5	106(12)	1,466	1,413	2,879	56	92	148	1	32	33
24	5	108(12)	1,481	1,439	2,920	60	94	154	1	30	31
25	5	105(12)	1,476	1,457	2,933	66	90	156	1	29	30

※注1（ ）は特別支援学級再掲 ※注2 職員数に臨時職員は含めない。

(5) 特別支援学級の状況

平成25年５月１日現在（単位：人）

学校名	種別	学級数	児童生徒数	教員数
野々市小学校	知的障害	1	4	1
	自閉症・情緒障害	1	5	1
	肢体不自由	1	1	1
御園小学校	知的障害	1	6	1
	自閉症・情緒障害	1	3	1
菅原小学校	知的障害	1	1	1
	自閉症・情緒障害	1	3	1
富陽小学校	知的障害	1	5	1
	自閉症・情緒障害	1	5	1
	肢体不自由	1	1	1
館野小学校	知的障害	1	2	1
	自閉症・情緒障害	1	1	1
野々市中学校	知的障害	1	2	1
	自閉症・情緒障害	1	2	1
布水中学校	知的障害	1	4	1
	自閉症・情緒障害	1	1	1
	肢体不自由	1	1	1

(6) 市立中学校数・学級数・生徒数及び教職員数

各年５月１日現在（単位：人）

年度	学校数	学級数	生 徒 数			教 員 数			職 員 数		
			男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数
21	2	38(5)	624	537	1,161	41	35	76	1	5	6
22	2	38(5)	639	577	1,216	40	39	79	1	5	6
23	2	40(4)	682	609	1,291	42	41	83	1	6	7
24	2	42(4)	699	630	1,329	43	40	83	0	8	8
25	2	43(5)	705	633	1,338	42	42	84	0	8	8

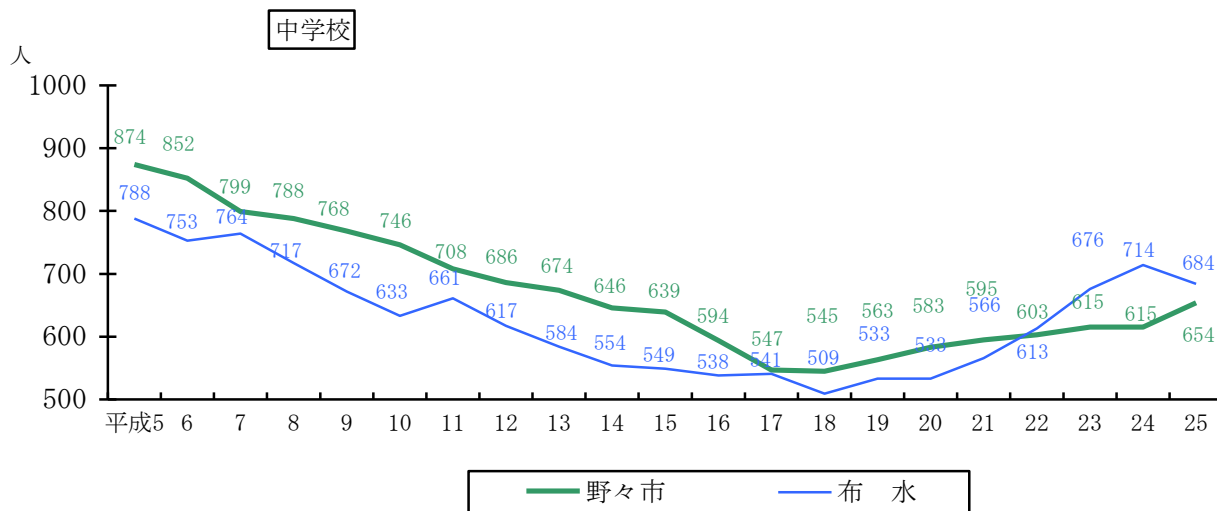
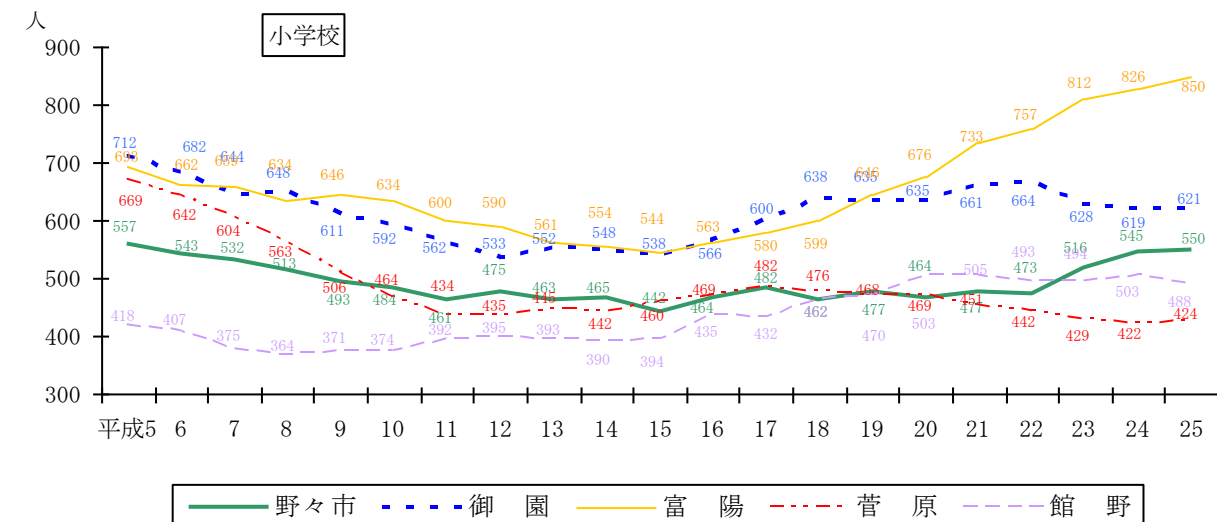
※注1（ ）は特別支援学級再掲 ※注2 職員数に臨時職員は含めない。

(7) 中学校卒業生進路状況

各年5月1日現在(単位:人)

年	卒業生計 (B+C+D +E+F) A	高等学校 等進学者 B	専修学校 (高等課程) 進学者 C	専修学校 (一般課程) 等入学者 D	就 職 者 E	無業者・ そ の 他 F	左記B、C、Dのうち 就職している者 G		高等学校 等進学率 〔B/A〕	就職率 〔(E+G)/A〕
							Bのうち	C、Dのうち		
21	347	343	—	—	—	4	—	—	98.9	0
22	393	387	—	—	2	4	—	—	98.5	0.5
23	371	369	—	—	1	1	—	—	99.5	0.3
24	394	392	—	—	1	1	—	—	99.5	0.3
25	444	442	—	—	1	1	—	—	99.5	0.2

(8) 児童・生徒の推移(各年5月1日現在)



(9) 私立幼稚園学級数・園児数及び教職員数

各年5月1日現在（単位：人）

施設名	年度	学級数	園児数			教員数			職員数		
			男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数
扇が丘幼稚園 北陸学院	21	3	51	43	94	—	9	9	1	—	1
	22	4	48	40	88	—	9	9	1	—	1
	23	4	53	51	104	—	10	10	1	—	1
	24	4	54	53	107	—	9	9	2	—	2
	25	3	51	46	97	—	9	9	—	—	—
青竜第二幼稚園	21	10	95	74	169	3	12	15	1	1	2
	22	11	105	66	171	3	12	15	1	1	2
	23	11	102	75	177	3	13	16	1	1	2
	24	11	105	73	178	4	12	16	1	—	1
	25	11	98	75	173	4	13	17	1	—	1

資料：北陸学院扇が丘幼稚園（臨時職員を含む）・青竜第二幼稚園

(10) 石川県立明和特別支援学校学級数・児童・生徒数及び教職員数

※平成22年4月1日より開校

各年5月1日現在（単位：人）

年度	部門名	学級数	児童生徒数			教員数			職員数
			男	女	総数	男	女	総数	
23	肢体不自由教育	12	15	10	25	49	107	156	38
	知的障害教育	49	166	68	234				
24	肢体不自由教育	10	9	11	20	46	90	136	34
	知的障害教育	49	156	70	226				
25	肢体不自由教育	9	9	7	16	40	98	138	30
	知的障害教育	51	177	67	244				

資料：石川県立明和特別支援学校

(11) 石川県立野々市明倫高等学校学級数・生徒数及び教職員数

各年5月1日現在（単位：人）

年度	学級数	生徒数			教員数			職員数
		男	女	総数	男	女	総数	
21	20	358	435	793	28(5)	19(5)	47(10)	9
22	20	383	409	792	28(5)	18(5)	46(10)	9
23	20	398	382	780	32(4)	17(5)	49(9)	8
24	21	426	400	826	35(2)	15(8)	50(10)	8
25	21	402	419	821	35(6)	13(7)	48(13)	9

資料：石川県立野々市明倫高等学校

※注（ ）内は兼務教員等で外数

(12) 石川県公立大学法人石川県立大学学生数及び教職員数

各年5月1日現在（単位：人）

年度	学 生 数			教 員 数			職員数
	男	女	総数	男	女	総数	
21	270	294	564	57	8	65	28
22	281	332	613	56	10	66	28
23	296	333	629	57	10	67	21
24	276	321	597	56	10	66	22
25	279	316	595	57	10	67	24

資料：石川県公立大学法人石川県立大学

※注 平成21年度以降は学生数に院生数を含む。

(13) 石川県公立大学法人石川県立大学学科別学生数
学部

各年5月1日現在（単位：人）

年度	学 部 名	学 科 名	1 年	2 年	3 年	4 年	総 数
21	生物資源 環境学部	総 数	132	131	142	126	531
		生 産 科 学 科	44	43	49	39	175
		環 境 科 学 科	44	43	47	45	179
		食 品 科 学 科	44	45	46	42	177
22	生物資源 環境学部	総 数	139	132	144	131	546
		生 産 科 学 科	45	44	45	43	177
		環 境 科 学 科	48	44	51	41	184
		食 品 科 学 科	46	44	48	47	185
23	生物資源 環境学部	総 数	136	139	138	140	553
		生 産 科 学 科	45	45	46	42	178
		環 境 科 学 科	43	48	45	50	186
		食 品 科 学 科	48	46	47	48	189
24	生物資源 環境学部	総 数	135	136	143	132	546
		生 産 科 学 科	45	45	47	43	180
		環 境 科 学 科	44	43	49	42	178
		食 品 科 学 科	46	48	47	47	188
25	生物資源 環境学部	総 数	138	133	149	136	556
		生 産 科 学 科	44	44	54	38	180
		環 境 科 学 科	48	44	47	49	188
		食 品 科 学 科	46	45	48	49	188

資料：石川県公立大学法人石川県立大学

大学院

各年5月1日現在（単位：人）

年度	研 究 科 名	学 科 名	1 年	2 年	3 年	総 数
21	生物資源環境学 研究科	総 数	33	—	—	33
		博 士 前 期 課 程	25	—	—	25
		生 産 科 学 専 攻	3	—	—	3
		環 境 科 学 専 攻	6	—	—	6
		食 品 科 学 専 攻	9	—	—	9
		応 用 生 命 科 学 専 攻	7	—	—	7
		博 士 後 期 課 程	8	—	—	8
		自然人間共生科学専攻	5	—	—	5
		生物機能開発科学専攻	3	—	—	3
22	生物資源環境学 研究科	総 数	34	33	—	67
		博 士 前 期 課 程	34	25	—	59
		生 産 科 学 専 攻	8	3	—	11
		環 境 科 学 専 攻	8	6	—	14
		食 品 科 学 専 攻	8	9	—	17
		応 用 生 命 科 学 専 攻	10	7	—	17
		博 士 後 期 課 程	—	8	—	8
		自然人間共生科学専攻	—	5	—	5
		生物機能開発科学専攻	—	3	—	3
23	生物資源環境学 研究科	総 数	32	36	8	76
		博 士 前 期 課 程	27	36	—	63
		生 産 科 学 専 攻	5	7	—	12
		環 境 科 学 専 攻	5	8	—	13
		食 品 科 学 専 攻	13	9	—	22
		応 用 生 命 科 学 専 攻	4	12	—	16
		博 士 後 期 課 程	5	—	8	13
		自然人間共生科学専攻	1	—	5	6
		生物機能開発科学専攻	4	—	3	7
24	生物資源環境学 研究科	総 数	16	34	1	51
		博 士 前 期 課 程	11	29	—	40
		生 産 科 学 専 攻	2	4	—	6
		環 境 科 学 専 攻	3	5	—	8
		食 品 科 学 専 攻	3	13	—	16
		応 用 生 命 科 学 専 攻	3	7	—	10
		博 士 後 期 課 程	5	5	1	11
		自然人間共生科学専攻	1	1	1	3
		生物機能開発科学専攻	4	4	—	8
25	生物資源環境学 研究科	総 数	18	16	5	39
		博 士 前 期 課 程	15	12	—	27
		生 産 科 学 専 攻	3	3	—	6
		環 境 科 学 専 攻	9	3	—	12
		食 品 科 学 専 攻	0	3	—	3
		応 用 生 命 科 学 専 攻	3	3	—	6
		博 士 後 期 課 程	3	4	5	12
		自然人間共生科学専攻	3	1	1	5
		生物機能開発科学専攻	0	3	4	7

資料：石川県公立大学法人石川県立大学

(14) 金沢工業高等専門学校学級数・生徒数及び教職員数

各年 5 月 1 日現在 (単位：人)

年度	学級数	生 徒 数			教 員 数			職員数
		男	女	総数	男	女	総数	
21	15	475	40	515	49	6	55	12
22	15	476	41	517	50	7	57	12
23	15	493	49	542	48	7	55	12
24	15	498	53	551	47	9	56	15
25	15	506	58	564	49	11	60	15

資料：金沢工業高等専門学校

(15) 金沢工業高等専門学校学科別生徒数

各年 5 月 1 日現在 (単位：人)

年度	学 科 名	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	総 数
21	総 数	85	110	104	113	103	515
	電 気 電 子 工 学 科	29	—	—	—	—	29
	機 械 工 学 科	34	43	36	47	43	203
	電 気 情 報 工 学 科	—	33	36	32	32	133
	グ ロ ー バ ル 情 報 工 学 科	22	—	—	—	—	22
	国際コミュニケーション情報工学科	—	34	32	34	28	128
22	総 数	121	83	102	105	106	517
	電 気 電 子 工 学 科	40	27	—	—	—	67
	機 械 工 学 科	42	33	40	38	42	195
	電 気 情 報 工 学 科	—	1	31	35	31	98
	グ ロ ー バ ル 情 報 工 学 科	38	20	—	—	—	58
	国際コミュニケーション情報工学科	1	2	31	32	33	99
23	総 数	144	117	85	95	101	542
	電 気 電 子 工 学 科	47	42	25	—	—	114
	機 械 工 学 科	49	39	35	37	37	197
	電 気 情 報 工 学 科	—	—	4	28	31	63
	グ ロ ー バ ル 情 報 工 学 科	48	36	19	—	—	103
	国際コミュニケーション情報工学科	—	—	2	30	33	65
24	総 数	133	135	110	84	89	551
	電 気 電 子 工 学 科	39	47	40	25	—	151
	機 械 工 学 科	43	47	34	35	36	195
	電 気 情 報 工 学 科	—	—	—	2	27	29
	グ ロ ー バ ル 情 報 工 学 科	51	41	36	19	—	147
	国際コミュニケーション情報工学科	—	—	—	3	26	29
25	総 数	121	130	128	106	79	564
	電 気 電 子 工 学 科	31	38	47	38	23	177
	機 械 工 学 科	45	41	45	32	34	197
	電 気 情 報 工 学 科	—	—	—	—	3	3
	グ ロ ー バ ル 情 報 工 学 科	45	51	36	35	18	185
	国際コミュニケーション情報工学科	—	—	—	1	1	2

資料：金沢工業高等専門学校

(16) 金沢工業大学学生数及び教職員数

各年5月1日現在（単位：人）

年度	学 生 数			教 員 数			職員数
	男	女	総数	男	女	総数	
21	6,724	549	7,273	310	30	340	176
22	6,752	558	7,310	302	28	330	177
23	6,617	582	7,199	306	30	336	186
24	6,615	620	7,235	313	31	344	199
25	6,824	692	7,516	316	30	346	203

資料：金沢工業大学

※注 学生数には院生数を含む。

(17) 金沢工業大学学科別学生数

5月1日現在（単位：人）

年度	学部・学科名等			1年次	2年次	3年次	4年次	その他	計
25	学部	工学部	機 械 工 学 科	236	269	243	246	－	994
			ロ ボ テ ィ ク ス 学 科	144	139	115	139	－	537
			航空システム工学科	80	61	63	58	－	262
			電 気 電 子 工 学 科	235	224	188	211	－	858
			電子情報通信工学科	80	71	－	－	－	151
			情 報 通 信 工 学 科	0	7	74	63	－	144
			情 報 工 学 科	306	218	－	1	－	525
		環境・建築学部	環 境 土 木 工 学 科	67	65	60	35	－	227
			建 築 学 科	149	147	172	155	－	623
			建 築 デ ザ イ ン 学 科	156	127	－	－	－	283
			建築都市デザイン学科	0	7	50	33	－	90
			バ イ オ 化 学 科	－	－	－	0	－	0
			環 境 化 学 科	－	－	－	0	－	0
		情報学部	メ デ ィ ア 情 報 学 科	3	11	134	151	－	299
			心 理 情 報 学 科	0	9	58	49	－	116
			情 報 経 営 学 科	0	5	54	25	－	84
			情 報 工 学 科	0	26	216	232	－	474
		バイオ・化学部	応 用 バ イ オ 学 科	112	101	94	119	－	426
			応 用 化 学 科	97	98	71	89	－	355
		情報フロンティア学部	メ デ ィ ア 情 報 学 科	168	162	－	0	－	330
			生 命 情 報 学 科	－	－	－	2	－	2
			心 理 情 報 学 科	63	63	－	0	－	126
			情報マネジメント学科	－	－	－	0	－	0
			経 営 情 報 学 科	71	66	－	－	－	137
	計			1,967	1,876	1,592	1,608	－	7,043
	大学院	修士課程	機 械 工 学 専 攻	45	56	－	－	－	101
			環 境 土 木 工 学 専 攻	4	5	－	－	－	9
			情 報 工 学 専 攻	9	12	－	－	－	21
			電 気 電 子 工 学 専 攻	36	42	－	－	－	78
			システム設計工学専攻	13	14	－	－	－	27
			バ イ オ ・ 化 学 専 攻	19	13	－	－	－	32
			建 築 学 専 攻	22	19	－	－	－	41
			高信頼ものづくり専攻	0	0	－	－	－	0
			ビジネスアーキテクト専攻	26	1	－	－	－	27
			知的創造システム専攻	46	－	－	－	－	46
			臨 床 心 理 学 専 攻	2	6	－	－	－	8
			計	222	168	－	－	－	390
		博士課程	機 械 工 学 専 攻	1	1	1	－	－	3
			環 境 土 木 工 学 専 攻	0	0	0	－	－	0
			情 報 工 学 専 攻	0	0	1	－	－	1
			電 気 電 子 工 学 専 攻	0	1	0	－	－	1
			システム設計工学専攻	1	0	4	－	－	5
			バ イ オ ・ 化 学 専 攻	0	1	2	－	－	3
			建 築 学 専 攻	0	0	0	－	－	0
			高信頼ものづくり専攻	4	5	0	－	－	9
	計	6	8	8	－	－	22		
	専攻科			－	－	－	－	7	7
	計			228	176	8	－	7	419
	研究生（学部）			－	－	－	－	8	8
	研究生（大学院）			－	－	－	－	4	4
	科目等履修生（学部）			－	－	－	－	1	1
	科目等履修生（大学院）			－	－	－	－	41	41
	計			2,195	2,052	1,600	1,608	61	7,516

VI. 生涯学習

1. 基本目標及び基本的施策

(1) 基本目標

自らが生きがいのある充実した生活を送るため、全ての市民が自主的に生涯にわたって学習を継続できる体制整備を推進します。

家庭教育や地域教育力の充実を図りながら、子どもたちが、家庭や地域で他人を思いやる心、たくましい心を育むなど、生きる力を育むまちをめざします。

(2) 基本的施策

① 家庭教育・子育て支援の充実

- ・ 家庭教育指針「ののいち元気家族三か条」を活用しながら、基本的生活習慣や家庭教育の大切さを啓発します。
- ・ 子育て支援や子育て相談体制の充実を図るため、家庭教育サポーターの育成に努めます。
- ・ 家庭教育力を高めるため、保護者を対象に家庭教育の大切さを学ぶ学習機会の充実に努めます。

② 青少年の健全育成

- ・ 青少年問題協議会の開催など、青少年健全育成の課題について調査・研究に努めます。
- ・ 成人式や立志式の開催を通して、青少年の社会参加活動を推進します。
- ・ 街頭や Web サイトの巡視活動など子どもの問題行動の抑止と有害環境から子どもを守る取り組みを推進します。
- ・ 自然と触れ合う機会など、子どもたちがたくましく生きる力や豊かな人間性を育みます。
- ・ 子ども会育成連絡協議会やPTA連合会など、社会教育団体の活動を支援します。
- ・ 少年ボランティア団体などの活動を支援します。

③ 家庭・地域・学校が一体となった教育力の向上

- ・ 放課後子ども教室など、地域での安全で安心な子どもの居場所づくりの取り組みを推進します。
- ・ 「“ののいちっ子を育てる” 市民会議」を中心とした学校・家庭・育成団体・地域・行政の連携による育成活動を促進します。

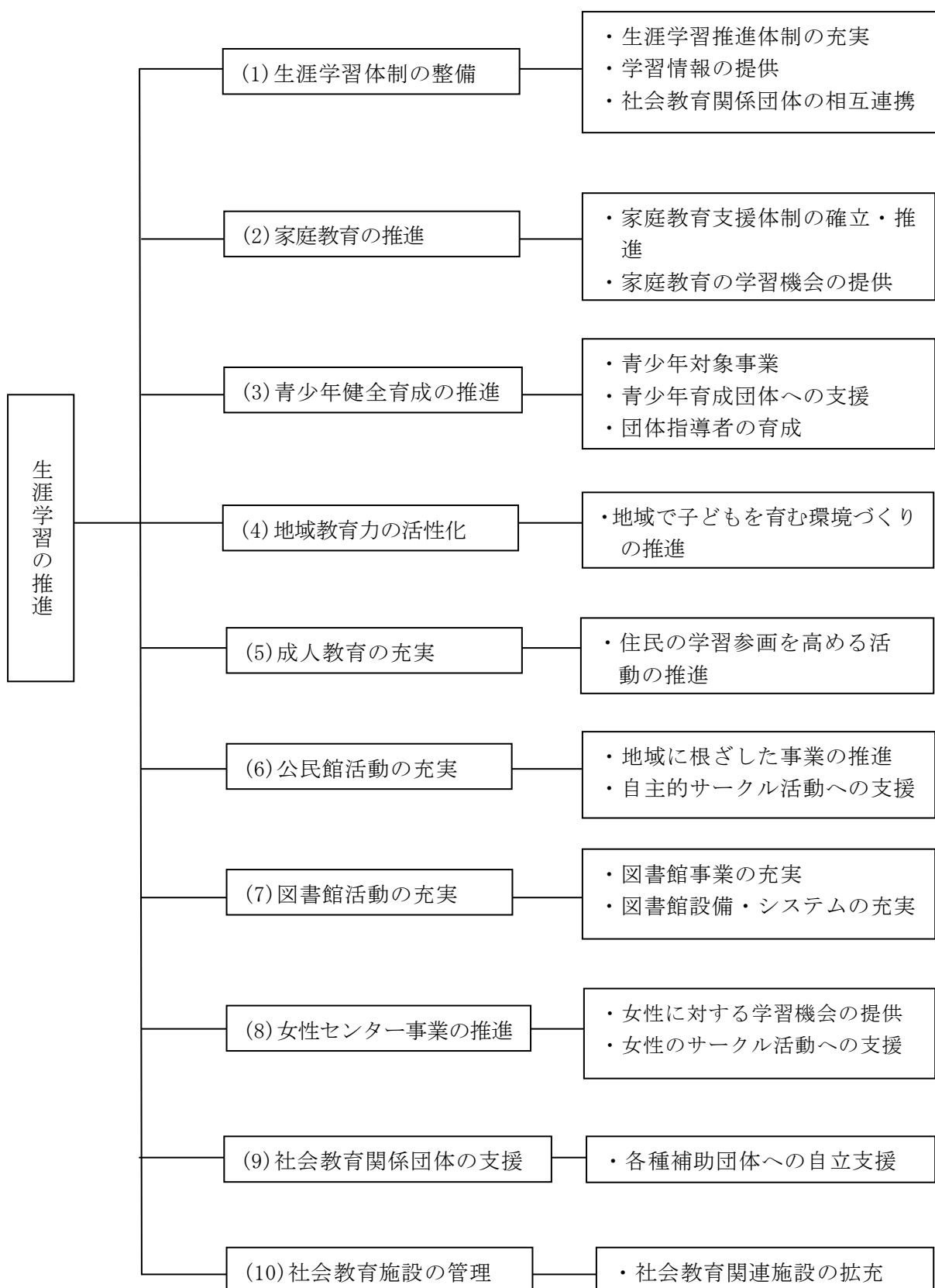
④ 生涯教育と社会参画の推進

- ・ 公民館が地域の学習拠点として、特色ある事業を推進します。
- ・ 図書館が市民の学習活動を通じた知の拠点として、誰もが利用しやすい施設として機能を果たすよう努めます。
- ・ 学びのサポーター登録など、地域の人材を発掘し、地域社会の活性化を推進します。
- ・ スカウト育成会、女性団体など、社会教育関係団体の自立と活動を支援します。

⑤ 生涯学習環境の整備

- ・ 公民館等の十分な機能維持のための施設整備に努めます。
- ・ 富奥公民館の改築（(仮称) 富奥地区防災コミュニティセンター）や郷公民館の改修など社会教育施設の整備に努めます。

2. 生涯学習施策体系



(1) 生涯学習体制の整備

- ① 生涯学習推進体制の充実
 - ・教育ユニバーサルプランの実現に向けた体制づくり
 - ・社会教育委員会議の開催
- ② 各種社会教育団体への加入と連携
 - ・県…県社会教育委員連絡協議会、金沢大学社会教育研究振興会、県少年補導センター連絡協議会、県視聴覚教育協議会、県公民館連合会
- ③ 学習情報の提供
 - ・「生涯学習情報」の市広報紙掲載（年3回、7・10・1月）
 - ・「公民館サークル情報」の発行（年1回、5月）
 - ・市広報紙、市ホームページ、市地域ポータルサイト、えふえむ・エヌ・ワン等の活用

(2) 家庭教育の推進

- ① 家庭教育支援体制の確立
 - ・家庭教育推進協議会の開催
 - ・家庭教育サポーターの設置
 地域において保護者に対する支援活動

② 学習体制の整備

幼児から中学生までの保護者への学習機会を積極的に提供します。

事業名	対象	参加予定人数	回数	内容
家庭教育学級 (全小中学校 PTA)	小・中学生 の保護者	1回あたり 45人程度	1校あたり 2～3 回	市PTA連合会に委託 家庭教育の向上をめざし、保護 者の学習機会の拡充を図る。
幼児家庭教育講座 (全保育園)	園児の保護 者	1回あたり 30人程度	1園あたり 各1回	幼児期の家庭教育の重要性を 学ぶ。
就学時健診子育て講座 (全小学校)	就学前児童 の保護者	1回あたり 100人程度	5回 (1校あたり1回)	就学時健診の機会を活用して、 全ての保護者へ学習機会を提供する。
思春期子育て講座 (全中学校)	中学校入学 前の生徒の 保護者	1回あたり 200人前後	2回 (1校あたり1回)	中学校入学説明会の機会を活用して、全ての保護者へ学習機会を提供する。



家庭教育学級



幼児家庭教育講座

(3) 青少年健全育成の推進

—「青少年対策機構図」は 43 ページ参照—

① 青少年対象事業の実施

子どもたちが遊びのおもしろさや手づくりの温かさ、自然の雄大さを体験し、年齢や学校を越えた仲間づくりを進めます。

事業名	対象	募集定員	内容	場所
子ども自然体験事業 ～とびだせ！アウトドア KIDS～	小学3年～ 小学6年生	30人	自然教室(年2回、日帰り)	白山麓
学びのサポーターとつくる夏休み体験	小学生	140人	手作り教室、体験教室など	地区公民館など
立志式	中学2年生	460人	11月27日開催、講演会の開催	文化会館 大ホール
青少年海外派遣事業	中・高校生	未定	石川少年の翼への参加補助(派遣は隔年実施)	大韓民国、 中国、ロシア

② 青少年団体の育成

学校外活動の充実を図るため、定期的に活動する団体の育成を推進します。

- ・中央公民館事業…フォルテ児童合唱団
- ・ボランティア団体…ボランティア探検隊「飛鳥」、ジュニアリーダー会「響」

③ 校外育成活動の充実

市少年育成センターと“ののいちっ子を育てる”市民会議が中心となって、官民一体となった育成活動を展開します。

	組織	主な事業
少年育成センター	運営協議会の開催(年3回) 委員 14人 育成指導員 71人	街頭巡視活動、非行防止 S&S ネット懇話会、万引き対策、コンビニ協議会、インターネット巡視活動など
“ののいちっ子を育てる”市民会議	常任委員会(年4回)、全体会議(年1回)の開催 構成 55団体、役員・常任委員 27人	愛と和のひと声運動、子どもと大人のまちぐるみ美化清掃、社会環境浄化活動、啓発活動など

④ 体験活動情報提供事業の推進

- ・情報交流館こどもセンターを拠点に、体験情報の収集と発信



子ども自然体験



立志式



子どもと大人のまちぐるみ美化清掃

(4) 地域教育力の活性化

① 放課後・週末における子どもの居場所づくりの推進

放課後や週末におけるスポーツや文化活動などの体験活動や、地域住民との交流活動を実施します。

事業名	校区
野々市小学校放課後ふれ愛ルーム	野々市小学校
御園小学校放課後子ども教室	御園小学校
菅原小学校放課後子ども教室	菅原小学校
富陽小学校放課後子ども教室	富陽小学校
館野小学校放課後子ども教室	館野小学校
こどもセンター放課後子ども教室	全市

② 生涯学習ボランティアの育成

事業名	目的	内容
学びのサポーター 登録・活用事業	子どもたちの体験活動を充実させるため「学びのサポーター」を募集・登録し、学社連携を強化しながらその活用を図る。	募集・登録・紹介事業 公民館活用事業 学校活用事業



放課後子ども教室



学びのサポーターとつくる夏休み体験

(5) 成人教育の充実

① ののいち市民大学校事業の実施

・コミュニティ・カレッジの開講

目 的	内 容	企画委員会	場 所
大学協力講師等による市民向け講座を開設し、市民の自主的な運営によって、学習機会の拡大とまちづくり事業への参画意識の高まりを図る。	金沢工業大学、石川県立大学、放送大学石川学習センター、金沢大学、また、郷土史家等の協力により、昼の部、夜の部及び共通講座を計 12 講座程度開講。交流会を 3 回程度実施。	公募者等 9 名	中央公民館他

・ののいちネット塾の開講（(財)情報文化振興財団へ委託）

目 的	内 容	運営委員会	ボランティア
インターネットを用いた野々市市民のための生涯学習の場として、個々の教養、IT スキルの向上及び住民間のコミュニケーションの促進を図る。	インターネットを活用した在宅学習とネット講座の開設、一部の講座ではスクーリング形式で開講。 ・学習者としての参画 ・講師としての参画 ・ボランティアとしての参画	野々市市及び金沢工業大学より各 3 名	カメラパルが教材製作支援 随時募集

・マイ・タウン塾の開講

目 的	内 容	実施回数等	場 所
生涯学習への参加意欲が高まる中、町内会と連携をとりながら学習機会の提供。	テーマや講師を提案し、希望町内会の会館などで出前講座を実施。	1 町内会につき 1 回	各町内会館等

・ののいち市民大学校公開講座

本事業を広く市民に公開し、学習機会の充実と学習意欲の喚起を図ります。

事 業	内 容	実施回数等	場 所
放送大学石川学習センター開放講座	放送大学の人的資源を地域に開放する一般向け教養講座。	年 2 回程度	文化会館他

② 成人式の開催

目 的	日 時	内 容	場 所
新成人の前途を祝福するとともに、人生の意義あるステップとなることを願う。	平成 26 年 1 月 12 日(日) 午前 10 時から	式典等	文化会館



コミュニティ・カレッジ



成人式

(6) 公民館活動の充実

① 中央公民館事業（活動）の充実

・ ののいちマナビィフェスタ 2013 の開催

目 的	内 容	期 間	会 場
生涯学習と地域文化の発展を願い、広く学習と活動の機会を設けることにより、一人ひとりが生きがいを実感し、文化の香り高いまちづくりを目指す。	作品展示、舞台発表、活動発表、講演会、模擬店、イベント等	10 月 26 日 （日） から 11 月 10 日 （日）	中央公民館 カメラア フォルテ 郷土資料館

・ 高齢者教育の推進

事業名	対象	参加者数	内容
野々市寿大学校	60 歳以上	47 人	5 月から月 2 回程度。 教養・健康づくり・歴史などの講座を実施
野々市寿大学院	寿大学校の 卒業生	136 人	コーラス・ちぎり絵・俳句・園芸・囲碁・ 書の 6 コースを実施 院生による自主活動

・ 自主サークル活動の充実

寿大学校同窓会活動への支援…心寿会

② 地区公民館活動の充実

地域住民が心身ともにさわやかで明るい活力に満ちた生活が築けるように、住民相互の親睦を深めながら、個々の教養の向上、健康の増進に寄与できる公民館活動を行います。

・ 主な地区公民館事業

◎ 野々市公民館

生涯学習のテーマ：地域と連帯

期 日	事 業 名
5 月	視察研修会
6 月	事業推進員自主企画講座
7 月	グラウンドゴルフ大会
7・8 月	悠々趣味の講座
10 月	本町地区運動会
11 月	ソフトバレー大会
12 月	クラシックコンサート
1 月	親子まなびい講座
2 月	文化教養講座

◎ 富奥公民館

生涯学習のテーマ：文化と教養

期 日	事 業 名
5 月	グラウンドゴルフ大会
6 月	視察研修会
7 月	虫送り大会
10 月	富奥地区運動会
11 月	人形劇
11 月	ボウリング大会
11 月	ののいち学講座
12 月	大縄跳び大会
1 月	健康サロン



地域デビュー講座



健康サロン講座

◎ 郷公民館

生涯学習のテーマ：自然と環境

期 日	事 業 名
6 月	花いっぱい運動
6 月	高齢者生きがい教室
7 月	グラウンドゴルフ大会
9 月	ののいち学講座
10 月	郷地区運動会
10 月	高齢者生きがい教室
10 月	視察研修会
11 月	花いっぱい運動
11 月	室内軽スポーツ
2 月	時局講演会
2 月	ボウリング大会
3 月	健康教室

◎ 押野公民館

生涯学習のテーマ：健康と安全

期 日	事 業 名
6 月	体験型研修
6 月	グラウンドゴルフ大会
8 月	いこいの作品展(2 日)
10 月	押野地区運動会
11 月	ふれあいもちつき
11 月	トリプルソフト大会
12 月	冬の手作り講習会
1 月	わら工作の会
2 月	新春麻雀大会
2 月	ボウリング大会
2 月	ののいち学講座
3 月	いきいきゼミナール



花いっぱい運動



防災研修会

(7) 図書館活動の充実

・事業内容

事 業 項 目	事 業 概 要
資料と情報の収集・提供	電算システムのよりよい活用を図り、資料を選択、収集、整理保存し、インターネットによる蔵書検索サービスを行う。図書館の資料を活用し、的確なレファレンス・サービスを行う。他の図書館と連携し、利用者のニーズに応じた資料の提供を行う。
地域格差の解消	移動図書館車の運行と団体貸出、配本所を充実する。
郷土理解のための情報提供	市民の郷土理解のため情報の収集と提供に努める。
児童への働きかけ	乳児も含め、児童にすぐれた出版物をふれさせ、読書のすばらしさを知るきっかけを与える。
各種団体の育成	読書習慣の普及と読書会活動の推進、グループの育成を図る。10 か月児健康相談で、メッセージを添えて絵本を手渡し、読み聞かせの大切さを伝えるブックスタート事業の推進とボランティアの活用と育成を図る。
学校図書館等との協力体制	学校図書館等との連携を図り、互いの活動の充実に努める。

・主な活動計画

事業名	対象	実践活動の内容	実施場所
おはなし会 (月2回)	幼 児 小学生	お話や絵本の読み聞かせ、紙芝居など。	市立図書館
移動図書館車	市 民	約 2,000 冊の図書を積載し、市内 20 ヶ所に月 1 回運行して貸し出しを行う。	市内
ワゴン展示 (全 10 回)	一 般	月ごとにテーマを決めて図書をワゴンに展示する。	市立図書館
ブックスタート (月2回)	乳 児 保護者	メッセージを添えて絵本を手渡し、読み聞かせの大切さを伝える。	保健センター
0、1、2 歳児のための おはなし会 (年2回)		乳幼児向けの読み聞かせ、手遊び、わらべうた等。乳幼児を連れた保護者が気軽に図書館を利用できる機会をつくる。	市立図書館
野々市明倫高校の 生徒による手づくりPOP展 (年1回)	一 般	市内の高校生の手づくりによる図書の内容を紹介したカード（POP）を館内に展示する。	市立図書館
チャリティー古本市 (年1回)	一 般	蔵書として活用しない寄贈図書や古い雑誌等を譲渡する。	市立図書館



0・1・2 歳児のためのおはなし会



手づくりPOP展

(8) 女性センター事業の推進

働く女性の日常生活に必要な援助を与え、その福祉の増進を図るための事業を推進します。

・主な事業

期 日	事 業 名	期 日	事 業 名
5～6月	ヨガ・樹脂粘土で作る鉢植え	10月	料理教室
7月	和布の作品製作	12月	大根寿し・生花アレンジメント
8月	ラタンクラフト・消費者講座	1月	ちりめんで作るお雛様
9月	みんなで歌おう！〈懐メロ〉	2～3月	英会話〈初級・中級〉・水引製作
9月	みんなで歌おう！〈フォークソング〉		

⑤ サークル活動の推進

生涯学習施設において自主学習サークル、グループの登録要綱等を整備し、市民の自発的な学習と仲間づくりを支援します。

・サークル、グループ登録状況(平成25年4月現在)

施 設 名	登 録 数	施 設 名	登 録 数
野々市公民館	32 団体	押野公民館	13 団体
富奥公民館	12 団体	女性センター	23 団体
郷 公民館	16 団体	青少年センター	2 団体

計 98 団体

(9) 社会教育団体の支援

① 補助団体一覧

(平成25年4月1日現在)

部門	団 体 名	代 表 者	設 立 年	構 成 員 数 (人)	下 部 団 体
育成 団体	子ども会育成連絡協議会	内村 昭夫	昭和 42 年	3,600	57
	PTA 連 合 会	星野 均	昭和 38 年	3,921	7
	野々市スカウト育成会	栗 貴章	昭和 44 年	82	6
女性 団体	女性協議会	藤多 典子	昭和 52 年	700	
	生活学校	進村 五月	昭和 46 年	21	
	各種女性団体連絡協議会	上野 弘子	平成 14 年	294	5
青年 団体	青年ボランティア団体 RISE	八島 潤一	平成 14 年	10	
公 民 館 団 体	公民館連合会	田多野 和彦	平成 17 年	10	

(10) 社会教育施設の管理

① 施設の充実

ア 社会教育関連施設の整備

- ・施設の効率的な修繕
- ・新図書館建設に向けた調査研究

イ 社会教育関連施設の運用の工夫

- ・公共施設予約案内システムの運用

② 施設の概要

名 称	位 置	電話番号	延床面積(㎡)	施 設 内 容	建設年月
中央公民館	本町二丁目 1-20	248-0521	2,763.19	ホール・舞台、会議室(6)、研修室(2)、学習室(2)、調理実習室、視聴覚室、和室(2)	S52. 7
野々市公民館	中央公民館に併設				
富奥公民館	中林五丁目 3	248-0829	853.62	会議室(2)、和室(2)、集会室、研修室、調理実習室	S51.12
郷公民館	田尻町 94	248-0250	820.40	集会室、談話室、学習室(2)、和室(2)、調理実習室	H 2. 3
押野公民館	押野三丁目 70	248-2839	709.58	集会室(2)、学習室、研修室、調理実習室、和室(2)	S61. 3
青少年センター	住吉町 17-10	246-0250	315.07	会議室、調理実習室、研修室(2)	S54. 3
女性センター	稲荷四丁目 155	246-0810	629.39	相談室、軽運動室、講習室(2)、調理実習室	S58. 1
市立図書館	本町二丁目 14-6	248-8099	788.81	閲覧室、学校図書館支援室(ボランティア活動室)、学習室	S42. 3

③ 施設利用の仕方

名 称	開館時間	休 館 日	使用申し込み方法等
中央公民館 野々市公民館 富奥公民館 郷公民館 押野公民館	午前 9 時～ 午後 10 時	月曜日、祝 日、年末年始	① 使用する日の 3 ヶ月前から 7 日前迄に使用許可申請書に必要事項を記入し、各公民館へ申し込む。 ② 電話、口頭、手紙等による申込みは受付できません。 ③ 受付時間は、午前 9 時から午後 5 時まで。(休館日を除く) ④ 使用料は、許可を受け次第前納する。
青少年センター	午前 9 時～ 午後 10 時	月曜日、祝 日、年末年始	① 使用する 7 日前迄に使用許可申請書により中央公民館へ申し込む。(休館日を除く) ② 使用料は、許可を受け次第前納する。
女性センター	午前 9 時～ 午後 10 時	月曜日、祝 日、年末年始	① 使用する 3 ヶ月前から 7 日前迄に使用許可申請書に必要事項を記入し申し込む。 ② 電話、口頭、手紙等による申込みは受付できません。 ③ 受付時間は、午前 9 時から午後 5 時まで。(休館日を除く) ④ 使用料は、許可を受け次第前納する。

市立図書館	火～金曜日 午前10時～ 午後7時 土・日曜日 午前10時～ 午後5時	月曜日、祝 日、年末年始	① 貸出は一人5冊まで ② 期間は2週間
-------	--	-----------------	-------------------------

④ 施設利用状況（平成24年度）

名 称	利用件数(件)	利用者数(人)
中央公民館(野々市公民館)	2,808	45,589
富奥公民館	882	14,854
郷公民館	1,007	10,732
押野公民館	918	13,747
青少年センター	222	4,928
女性センター	889	8,054

市立図書館 (移動図書館、配 本書の利用含 む)	有効登録人数 (人)		貸出利用者数 (人)		貸出冊数 (冊)		蔵書冊数 (冊)
	9,478		28,575		94,259		82,970
	中学生以下	2,145	中学生以下	5,959	中学生以下	22,718	
	一般	7,333	一般	22,616	一般	71,541	

⑤ 市立図書館分類別蔵書構成（平成25年3月末現在）

		平成24年度購入冊数(冊)	蔵書数(冊)	構 成 比 (%)
総 冊 数		3,120	82,970	100.0
開 架		—	41,317	49.8
閉 架		—	19,381	23.4
館 外		—	22,272	26.8
内 訳	0 総 記	38	1,564	1.9
	1 哲 学	85	1,793	2.2
	2 歴 史	173	4,488	5.4
	3 社会科学	229	5,172	6.2
	4 自然科学	152	2,555	3.1
	5 技 術	210	3,473	4.2
	6 産 業	76	1,319	1.6
	7 芸 術	146	3,487	4.2
	8 言 語	22	682	0.8
	9 文 学	645	24,414	29.4
	児 童 図 書	1,252	27,339	32.9
	郷 土 資 料	92	6,684	8.1

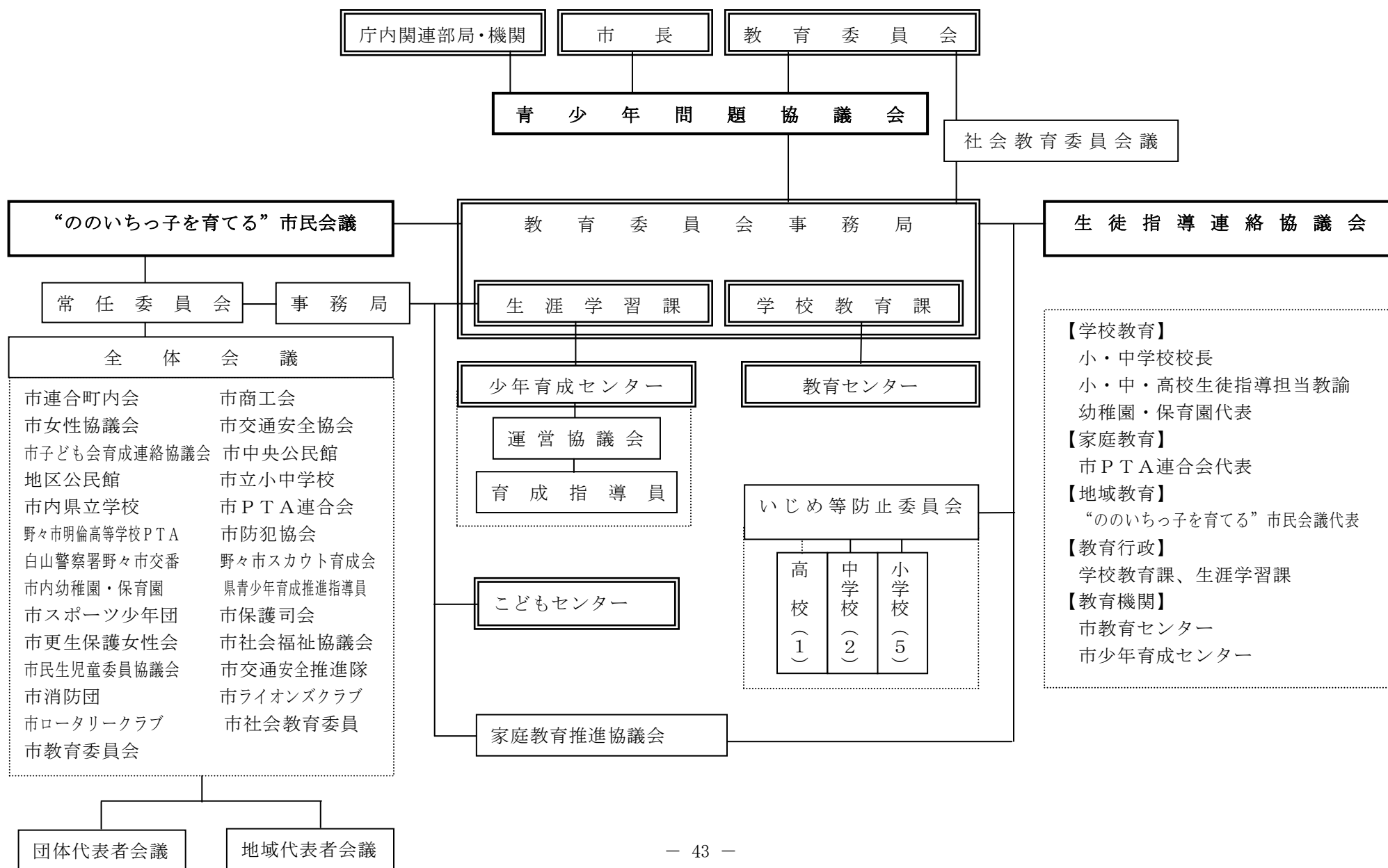
開 架：本館閲覧室（2階含む）所蔵の分

閉 架：本館書庫、事務室、学校図書館支援室所蔵の分

館 外：移動図書館、配本所、館外の書庫の分

青少年対策機構図

野々市市



Ⅶ. 文 化

1. 基本目標及び基本的施策

(1) 基本目標

文化活動を通じて、市民一人ひとりの創造性と個性を育むとともに、地域の歴史・文化への親しみを深める事業や環境の整備を進めて、郷土を愛する心豊かな人間性の育成をめざします。

(2) 基本的施策

① 文化・芸術活動の推進

- ・ 優れた芸術、音楽などの鑑賞の機会の拡充に努めます。
- ・ 市民が積極的に参加できるような魅力ある美術展、じょんからまつり、椿まつりの開催に努めます。
- ・ 市内で活動する文化団体への支援を拡充し、市民文化・芸術の振興を推進します。
- ・ 市民が中心となった自主的な文化・芸術活動を支援し、一人ひとりが芸術文化に親しむ機会の充実を図ります。

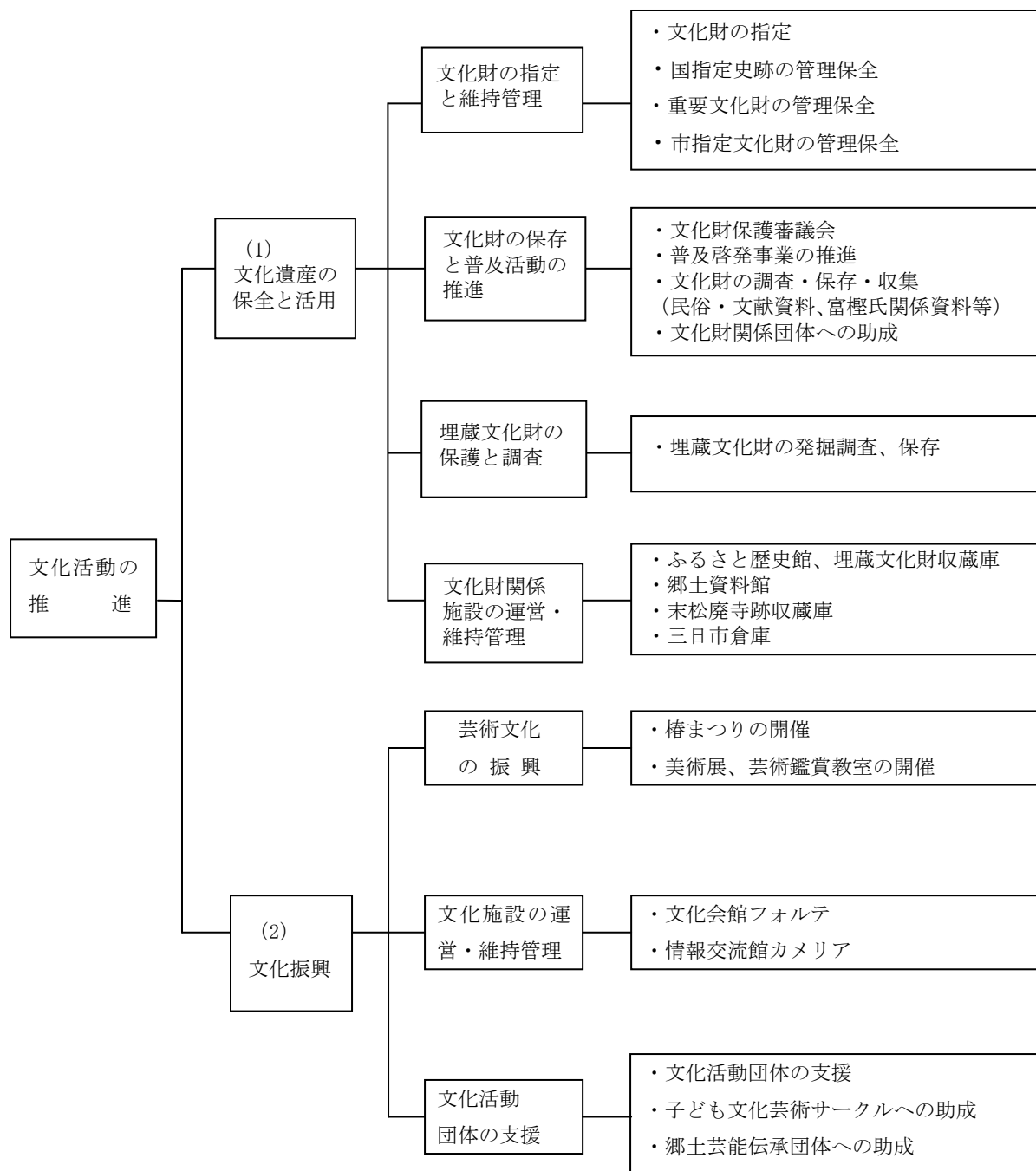
② 市民が文化に親しみやすい文化会館、情報交流館の活用

- ・ 情報文化振興財団の自主事業を支援し、市民参加型の芸術文化の活性化を促進します。

③ 伝統行事・文化財の保護と活用の推進及び地域の文化に対する理解の醸成

- ・ 郷土芸能伝承団体の活動を支援し、伝統行事の伝承と後継者の育成を図ります。
- ・ 土器づくりや勾玉づくりの古代体験学習、野々市の歴史・文化をテーマとした企画展・歴史まちあるき・講演会を実施します。
- ・ 重要文化財「石川県御経塚遺跡出土品」の土器について保存修理事業を進め、展示公開の充実を図ります。
- ・ 市のホームページに開設したデジタル資料館に、市指定文化財や映像資料などを追加しデジタル資料館の充実を進めます。
- ・ 史跡末松廃寺跡の魅力ある再整備に向けて基本的な方針の検討を進めます。
- ・ 本町地区の文化財を紹介する案内板を設置し、ガイダンス設備の充実を図ります。

2. 文化施策体系



(1) 文化遺産の保全と活用

① 文化財の指定と維持管理

ア 文化財の指定

市内に存在する重要な文化財を調査検討し、市指定文化財として後世に継承します。

イ 国指定史跡の管理保全



史跡末松廃寺跡



史跡御経塚遺跡

ウ 重要文化財の管理保全

石川県御経塚遺跡出土品、喜多家住宅

エ 市指定文化財の管理保全

農事社跡、住吉の宮、富樫館跡、徹通和尚茶毘の墓、水毛生家住宅

オ 指定文化財一覧表

a 国指定文化財

種 別		名 称	数量	所在地住所	管理者	指定年月日
重要文化財	建造物	喜多家住宅	2 棟	野々市市本町三丁目 8－11	喜多直次	昭46. 12. 28
記念物	史跡	末松廃寺跡		〃 末松二丁目地内	野々市市	昭14. 9. 7
〃	〃	御経塚遺跡		〃 御経塚一丁目549	〃	昭52. 3. 8
重要文化財	考古資料	石川県	4, 219	〃 御経塚一丁目182	〃	平22. 6. 29
		御経塚遺跡出土品	点	ふるさと歴史館		
重要無形文化財	工 芸 技 術	蒔絵	一	〃 清金	中野孝一	平22. 9. 6

b 市指定文化財

種 別		名 称	数量	所在地住所	管理者	指定年月日
有形文化財	絵画	馬の図 (伝富樫政親筆)	1 幅	野々市市扇が丘 7－1	金沢工業大学	昭45. 3. 10
〃	書跡	顕尊上人消息	1 通	〃 本町三丁目13－20	照台寺	昭42. 2. 11
〃	〃	前田利長書状	1 通	〃 本町三丁目 8－11	喜多直次	昭45. 3. 10
〃	〃	前田利常書状	1 通	〃	〃	〃
〃	〃	宿送人足伝馬之書	1 通	〃 御経塚一丁目182 ふるさと歴史館	野々市市	〃
〃	〃	野々市村村御印	1 通	〃	〃	〃

種 別		名 称	数量	所在地住所	管理者	指定年月日
有形文化財	書跡	上林村村御印	1 通	野々市市上林三丁目	小林外喜夫	昭53. 3. 12
〃	〃	下林村村御印	1 通	〃 下林四丁目153	下林町内会	〃
〃	〃	末松村村御印	1 通	〃 末松一丁目	古源一榮	〃
〃	〃	宣如上人消息	1 通	〃 本町三丁目	水毛生直則	〃
〃	〃	二日市村村御印	1 通	〃 御経塚一丁目182 ふるさと歴史館	野々市市	昭61. 4. 22
〃	〃	長池村村御印	1 通	〃 長池	長井博	〃
〃	〃	藤平田新村村御印	1 通	〃 藤平	進村栄信	〃
無形民俗文化財	芸能	野々市じょんから節		〃 本町	野々市じょんから節保存会	昭42. 2. 11
記念物	史跡	住吉の宮		〃 本町二丁目14-16 (布市神社)	布市神社	〃
有形文化財	歴史資料	徹通和尚茶毘の墓		〃 太平寺一丁目1-1	太平寺町内会	〃
記念物	史跡	富樫館跡		〃 本町二丁目307-1	野々市市	昭45. 3. 10
〃	〃	農事社跡		〃 住吉町170	〃	〃
〃	天然記念物	大公孫樹		〃 本町二丁目14-16 (布市神社)	布市神社	昭42. 2. 11
〃	〃	上林の大椎		〃 上林三丁目71 (林郷八幡神社)	林郷八幡神社	昭53. 3. 12
有形文化財	典籍	光松山八幡宮縁起 (卷子本)	3 巻	〃 御経塚一丁目182 ふるさと歴史館	野々市市	平2. 5. 29
〃	〃	光松山八幡宮縁起 (冊子本)	3 冊	〃	〃	〃
〃	書跡	徳用村肝煎仕平願書	1 通	〃	〃	〃
〃	〃	金谷御殿御用方赤井 喜内・山崎遐福翁覚	1 通	〃	〃	〃
〃	〃	元十村役瀬尾孫三 手代建部次吉請書	1 通	〃	〃	〃
〃	〃	建部次吉通知状	1 通	〃	〃	〃
〃	〃	里正棟取瀬尾孫三願書	1 通	〃	〃	〃
〃	〃	瀬尾孫三書状	1 通	〃	〃	〃
〃	〃	元御住居御用弁方書状	1 通	〃	〃	〃
〃	〃	建部次吉書状	1 通	〃	〃	〃
〃	〃	建部次吉書状	1 通	〃	〃	〃
〃	〃	氏神社神社号願	1 通	〃	〃	〃
〃	〃	前田家家扶代多田一書状	1 通	〃	〃	〃
〃	〃	八幡大神四文字ノ由来記	1 通	〃	〃	〃
〃	〃	八幡大神の神号額	1 幅	〃	〃	〃
〃	〃	亀の字	1 幅	〃	〃	〃
〃	〃	野草幽花各自香	1 幅	〃	〃	〃
〃	歴史資料	鳥居	1 基	〃 徳用町501番地	徳用町内会	〃
〃	〃	三社の題額	1 面	〃	〃	〃

種 別		名 称	数量	所在地住所	管 理 者	指定年月日
有形文化財	歴史資料	八幡大神の神号額	1 面	野々市市御経塚一丁目182 ふるさと歴史館	野々市市	平2.5.29
〃	絵画	猿の絵	1 幅	〃	〃	〃
〃	〃	扇面	1 幅	〃	〃	〃
〃	〃	宝の玉の図	1 幅	〃	〃	〃
〃	彫 刻	木造狛犬	1 対	〃 徳用町501番地	徳用町内会	〃
〃	建造物	旧魚住家住宅 (現郷土資料館)	1 棟	〃 本町三丁目19-24	野々市市	平5.2.16
〃	〃	水毛生家住宅 附 庭 園	3 棟	〃 本町三丁目	水毛生直則	平8.1.25
〃	工芸品	脇差(銘信長)	1 振	〃 本町三丁目1-1	布市神社	平8.3.1
〃	歴史資料	木造厨子	1 基	〃 三納二丁目1	日下日吉神社	平9.6.25
〃	〃	石造山王権現神像	1 軀	〃	〃	〃
記 念 物	史 跡	経塚	1 基	〃 御経塚二丁目335	野々市市	平12.5.26
		附 石像傳大土像	1 軀	〃 御経塚一丁目182 ふるさと歴史館		
有形文化財	書 跡	野代村村御印	1 通	〃 野代二丁目	西川和昭	平14.7.4
〃	歴史資料	古源家文書	414点	〃 末松一丁目	古源一榮	〃
〃	考古資料	和同開珎銀銭	1 点	〃 末松一丁目	高村宏	平19.2.22
〃	考古資料	御経塚遺跡出土品	6,721 点	〃 御経塚一丁目182 ふるさと歴史館	野々市市	平20.4.22

② 文化財の保存と普及活動の推進

ア 文化財保護審議会

市内の文化財の保存および活用に関する事項を調査審議

イ 普及啓発事業の推進

● 普及啓発事業

- ・ 古代体験学習(土器作り・勾玉作りなど)、文化財関係企画展示を実施します。
- ・ 野々市の歴史について再認識をはかる歴史まちあるき・講演会を、本町地区において実施します。
- ・ 重要文化財石川県御経塚遺跡出土品について展示公開を充実します。
- ・ 平成24年度に開設したデジタル資料館について市指定文化財や写真資料などを追加し広く一般に発信します。

ウ 文化財の保存・調査・収集

- 民具、農具、生活用具等の収集
- 天然記念物、建造物、伝承の調査



デジタル資料館(トップページ)

- 体験、昔話の収集、記録
 - 古文書等文献資料や市の沿革に関する資料
- エ 文化財関係団体への助成
- 富樫氏頌徳会

③ 埋蔵文化財の保護と調査

ア 埋蔵文化財の発掘調査、保存、改修事業

事業名	事業概要	遺跡概要
北西部土地区画整理事業関係発掘調査	三日市A遺跡 出土品整理 二日市イシバチ遺跡 出土品整理 徳用クヤダ遺跡 出土品整理・報告書刊行 郷クボタ遺跡 出土品整理・報告書刊行	弥生・古代・中世集落跡
北西部公園関係発掘調査	二日市イシバチ遺跡 出土品整理	弥生・中世集落跡
富奥地区防災コミュニティセンター建設関係発掘調査	栗田遺跡 発掘調査 500 m ²	古代集落跡
二日市地内歩道整備関係発掘調査	二日市イシバチ遺跡 発掘調査 350 m ²	弥生・中世集落跡
民間開発（農産加工場建設）関係発掘調査	上林遺跡 発掘調査 500 m ² 出土品整理・報告書刊行	古代集落跡
文化財保存修理事業	重要文化財御経塚遺跡出土品 土器詳細復元委託 史跡末松廃寺跡 整備委員会立上げ 市内文化財案内看板設置工事 1 基本町地区	縄文 古代



北西部公園地区発掘調査
(二日市イシバチ遺跡・平成24年度)

④ 文化財関係施設の運営・維持管理

ア ふるさと歴史館・埋蔵文化財収蔵庫（指定管理者：（財）野々市市公共施設管理事業団）

概要 重要文化財に指定された御経塚遺跡出土品をはじめ、弥生時代～中世の出土遺物や富樫氏関係資料・近世文献資料の展示と文化財資料の整理・収蔵を行っています。

区 分	ふるさと歴史館	埋蔵文化財収蔵庫	計
敷地面積	1,131.39 m ²	509.02 m ²	1,640.41 m ²
建築面積	344.18 m ²	180.00 m ²	524.18 m ²
延床面積	822.30 m ²	302.00 m ²	1,124.30 m ²
構 造	鉄筋コンクリート2階・地下1階	鉄筋コンクリート2階	

所 在 地 野々市市御経塚一丁目182番地 電話：246-0133

開館時間 午前10時～午後4時

休 館 日 毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、祝日の翌日（土・日を除く）、年末年始

イ 郷土資料館（指定管理者：（財）野々市市公共施設管理事業団）

概 要 市指定文化財「旧魚住家住宅」と展示棟で、明治～昭和初期の農具や生活道具を展示しています。旧魚住家住宅は安政年間に建てられた農村の商家で、表構えは町家、間取りと構造は農家となる建物で、規模は間口7間（12.6m）、奥行14間（25.2m）です。天井の梁や一尺角の檼主柱、式台の厚板、囲炉裏などは、近世の民家の姿をよく伝えています。

面 積 敷地面積 964.76 m²
 建築面積 408.58 m²（旧魚住家住宅 280.85 m²・展示棟 127.71 m²）
 延床面積 611.08 m²（旧魚住家住宅 335.63 m²・展示棟 203.45 m²・土蔵 72 m²）

構 造 旧魚住家住宅 木造瓦葺平屋（一部中2階）・展示棟 鉄骨造2階

移築年月日 平成7年3月1日

所 在 地 野々市市本町三丁目19番24号 電話：246-2672

開館時間 午前10時～午後6時

休 館 日 毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、祝日の翌日（土・日を除く）、年末年始



ふるさと歴史館



郷土資料館

ウ 末松廃寺跡収蔵庫

概 要 白鳳時代（7世紀後半）に創建された末松廃寺跡から出土した遺物を収蔵しています。

鉄筋コンクリート造り平屋建、建築面積 153.98 m²、総床面積 129.73 m²。

所 在 地 野々市市末松二丁目（史跡末松廃寺跡）地内

エ 三日市倉庫

概 要 市内埋蔵文化財発掘調査で出土した遺物及び市内で収集された民具、農具、生活用具等を保管しています。

コンクリートブロック造瓦葺（一部木造カラー鉄板平屋建）

敷地面積 393.65 m²、建築面積 231.0 m²。

所 在 地 野々市市三日市町 182－1

(2) 文化振興

① 芸術文化の振興

ア 花と緑のいち椿まつり 2014

目 的 愛と和の市民憲章に謳われている「郷土を愛し緑ゆたかな住みよいまち」づくりを推進するため、市花木に指定されている「椿」を介して各種行事を開催し、文化的な潤いのある地域環境と「賑わい」の創出に寄与します。

開 催 日 平成 26 年 3 月 22 日（土）23 日（日）
場 所 野々市市文化会館フォルテ・教育センター
内 容

- ・アート・オブ・ツバキ（椿を題材とした作品展示）
生け花・盆栽・鉢植え・切り花・日本画・洋画・書・写真・工芸・彫刻
公開文学講演会・俳句・短歌・ジュニア椿絵画等
- ・椿オリジナルステージ（民謡・ダンス・軽音楽・コーラスなど、お楽しみ抽選会）
- ・花と緑の市（椿苗・盆栽・花苗・園芸資材等の即売ほか）
- ・特産物市（市特産品等の即売・農業振興協議会によるヤーコン等の販売ほか）
- ・お茶席（抹茶・煎茶）
- ・つばき食堂（各種飲食ほか）
- ・囲碁・将棋大会（自由対局・大会）
- ・イベントアラカルト

イ 野々市市美術展

市民の美術文化活動の振興とその鑑賞の機会を設けます。

期 日	内 容	場 所
8 月 30 日～9 月 8 日	市民公募（日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・ジュニア）	野々市市情報交流館

ウ 芸術鑑賞教室

1) 平成 25 年度

●児童・生徒オーケストラ鑑賞教室

オーケストラアンサンブル金沢

6 月 4 日（火） 野々市中学校全校生徒

●古典芸能鑑賞教室

箏、尺八、日本舞踊の鑑賞、楽器体験

6 月 13 日（木） 市内 5 小学校 5 年生

●県民移動能

能、狂言の鑑賞、能・狂言・楽器の体験

6 月 25 日（火） 布水中学校全校生徒



オーケストラ鑑賞教室（平成 24 年度）



スクールシアター（平成 24 年度）

② 文化施設の運営・維持管理

ア 文化会館フォルテ（指定管理者：（公財）野々市市情報文化振興財団）

名 称	住 所	電話番号	開館年月	延床面積
野々市市文化会館	本町五丁目 4-1	248-8000	S 63. 5	5, 648. 33 m ²

● 施設概要

< 1 階 >

- ・大ホール ※音楽、舞踊、演劇、講習、集会、映画など多目的に利用できます。
 収 容 人 数 832 人（椅子席 804 席、親子席 18 席、車椅子スペース 10 席分）
 椅子席 1 階 固定席 682 席（うち難聴者用 32 席）
 2 階 固定席 122 席
- 舞 台 プロセニウム（間口 18m、高さ 8 m、スノコまでの高さ 17.9m）
- 楽 屋 第 1(洋) 26 m² 9 人用、第 2(洋) 29 m² 7 人用、第 3(洋) 39 m² 15 人用
- リハーサル室 126 m²
- ・ふれあいホール カーペットタイル敷き 326 m²
 ※ステージの多分割機構及び吊下式移動パネルにより、多彩な空間構成が可能です。大ホールに準じた利用・展示会・レセプション等にも利用できます。
- 収 容 人 数 移動椅子 300 人
- 舞 台 機 能 組立式ステージ
 （巾 7 m、奥行 4 m、ステージ高 0.3m）
- 展 示 機 能 吊下式パネル（大 10 枚）
- パ ン ト リ ー 18 m² ※パーティーなどの準備室として利用できます。
- ・ミーティングルーム 57 m² 収容定員 20 人
- ・展 示 コ ー ナ ー 26 m² ※市の国際交流を紹介するコーナーです。
- ・喫 茶 室 46 m²

< 2 階 >

- ・レクチャールーム 56 m² 収容定員 20 人
- ・カルチャールーム 121 m² 収容定員 48 人
- ・セミナールーム 60 m² 収容定員 25 人
- ・カンファレンスルーム 36 m² 収容定員 12 人
- ・和 室 18 畳 2 間
- ・茶 室 6 畳と 3 畳（内露地有り）

< 駐車場 >

- ・駐車可能台数 330 台

● 利用案内

- ・開 館 時 間 午前 9 時～午後 10 時
- ・休 館 日 毎月第 1・3 水曜日（その日が祝日にあたる日は翌日）
 年末・年始、その他特別の事由により臨時休館することがあります。
- ・使用申込み方法 ① 使用する日の 1 年前の日に属する月の初日から使用する日の前 3 日

まで使用許可申請書に必要事項を記入し申し込んでください。

- ② 催し物を円滑に行うため、会館が指定する日に施設の使用方法など必要なことについて、係と事前打合せを行ってください。

(催し物のプログラム、入場券進行スケジュールなどの提出が必要)

- ③ 使用料は、使用許可書の交付と同時に前納してください。



B I G A P P L E in Nonoichi 2012

文化会館事業

月	日	曜日	事業名	出演者等
6	15	土	地域の音楽文化普及事業 野々市フレンドリーコンサート	野々市市内の中学・高校の合唱部・吹奏楽部による合同音楽祭
6	18	火	地域住民による演劇活性化事業 ぬいぐるみミュージカル 「イソップ物語／王様の耳はロバの耳」	出演：劇団銀河鉄道 対象：午前 市内保育園児 午後 一般市民
6	30	日	地域の音楽文化普及事業 ステージ・オン・ステージ 「世代を超える J A Z Z !」	フォルテを利用し気軽に音楽を楽しめる環境を提供
7	24	水	夏休み特別企画 フォルテミステリーツアー	児童・生徒を対象
7	23	火	石川県高校演劇合同発表会（共催事業） 7/23（火）及び8/8（木）～8/12（月）	高等学校総合文化祭と演劇合同発表会を共催
8	18	日	フォルテジャズライブ	津荷裕子（VO） ムーンライト JAZZ オーケストラ
9	17	火	地域住民による演劇活性化事業 ティータイムコンサート 「よみがえる古き昭和の名曲！」	出演：東京大衆歌謡楽団
9	29	日	野々市 想いをつなげるコンサート 「クラシック・サクソフォンの調べ」	出演：作田聖美 地元アマチュア演奏家他
10	5	土	地域の音楽文化普及事業 ファミリーコンサート （カメラ祭りの一環として開催）	子ども連れで気軽に参加できるような内容の音楽会 出演：オーケストラアンサンブル金沢
10	13	日	地域の音楽文化普及事業 ベーゼンドルファー演奏体験 10月13日（日）・2月2日（日）	小学生以上ピアノ経験者対象 年2回開催予定
11	3	日	地域の音楽文化普及事業 フォルテ館長ミュージックトーク	地域住民が気軽に音楽を楽しみ、かつ学べる環境をつくれます。
11	22	金	B I G A P P L E 出演者学校訪問 （訪問する学校は未定）	一流のミュージシャンの演奏を目の前で体験していただきます。
11	23 24	土 日	B I G A P P L E i n N O N O I C H I 2013	ニューヨークのジャズミュージシャンとムーンライト JAZZ オーケストラ他
2	11	火 祝	地域住民による演劇活性化事業 市民劇団演劇公演	出演：劇団 nono 対象：一般市民
—	—		ののいちジュニアバンド活動支援事業	サークル活動を支援し市の音楽活動の発展に寄与 指導：ムーンライト JAZZ オーケストラ

イ 情報交流館カメラ（指定管理者：（公財）野々市市情報文化振興財団）

名 称	住 所	電話番号	開館年月	延床面積
情報交流館カメラ	三納一丁目 1	227-6200	H17. 1	2, 798 m ²

● 施設概要

<1 階>

・キッズコーナー	90 m ²	28 人	PC12 台
・インターネットコーナー	90 m ²	18 人	PC 3 台
・メディア工房	65 m ²	10 人	PC 9 台
・メディアスタジオ	18 m ²	2 人	PC 2 台
・サテライトスタジオ	20 m ²		
・ラウンジ	60 m ²	10 人	貸出用 PC6 台
・創作ギャラリー	42 m ²		
・財団事務所	60 m ²		

<2 階>

・ホール椿（1 室利用）	100 m ²	100 人	
・ホール椿（2 室利用）	200 m ²	200 人	
・ホール椿（3 室利用）	300 m ²	300 人	
・201 研修室	44 m ²	25 人	
・202 研修室	53 m ²	30 人	

<3 階>

・301 研修室	30 m ²	16 人	
・302 研修室	60 m ²	21 人	PC21 台

● 利用案内

- ・開館時間 午前 9 時～午後 10 時
- ・休館日 毎月第 2・4 水曜日（水曜日が祝日の時は、その翌日）年末年始
- ・使用申込み方法
 - ① 連続使用は 10 日間までです。
 - ② 使用する日の 3 か月前の月の初日から使用日の 3 日前までに、許可申請書及び誓約書により申し込んでください。
 - ③ 使用日の 3 日前までに、必要な事項の打合せを行ってください。
 - ④ 使用料は、許可を受け次第前納してください。



科学技術理解増進事業
JAXA連携 宇宙学校 ののいち



科学技術理解増進事業
JAXA連携 コズミックカレッジ
【衛星画像解析に挑戦】



庁舎複合スペース
賑わいと交流創出事業
～カメラアまつり～



市民文化教養講座
ののいちアートワークショップ
～こども写真教室～

情報交流館事業

事業名	事業内容
カメラ紹介事業	カメラの事業内容や施設の状況などについて効果的な広報並びに情報発信を行います。また、ホームページの運用やパンフレットの作成、広報ののいちを含む各種メディアの活用や貸館スペース等の活用により館の周知と活用促進を図ります。
交流サロン利用促進事業	ITサポーターがパソコンツールの操作方法などをわかり易く説明します。また、地域情報化事例、機材有効活用法、各イベント等の紹介や成果品を創作ギャラリーで展示します。
カメラパソコン教室	パソコン（win7）入門、ワード 2010 入門、エクセル 2010 入門、ワードで年賀状、イラストレーター講座、フォトショップ講座、フラッシュ講座、カメラビデオパソコン講座（ビデオ自学自習）などを開講します。
カメラ・パル育成事業	カメラを拠点とした交流と連携によるまちづくりを目指します。「カメラ・パルの会」の活動推進。＜会員数：88名＞
大学連携・ののいちネット塾事業	市民のための生涯学習の場として現在 45 講座をインターネット上に公開。地域の風土や歴史、文化等を学び、個々の教養、IT スキルの向上及び住民間のコミュニケーション促進を目的として通年にわたり実施します。
こどもセンター事業	こどもセンター放課後子ども教室を設置し、放課後の安全な遊び場を確保するとともに、ものづくり体験や環境学習等の機会と交流の場を提供します。
地域情報化協働推進事業	地域ポータルサイト「ののいちタウン情報局」を利用し、ツイッターやフェイスブック等新たなメディアを活用しつつ、財団の事業やまちの話題を積極的に発信します。
映像制作事業	ビデオ製作のプロセスを通じて、地域の生活や歴史・文化等、市の魅力を再発見する力や、自らのアイディアや想いを映像を通して発信する力を養います。
科学技術理解増進事業	身近にある科学を実体験し、パソコンを含めた情報通信技術に遊びながら触れることで、科学や科学技術の面白さを体験します。
JAXA連携事業	宇宙開発専門の第一線で活躍する方々による講演や、実験・工作等の体験機会を設けることで、科学や宇宙の面白さを理解し、市民の知的好奇心を刺激する機会の充実に努めます。
市民文化教養講座	市内で活躍する方によるワークショップを開催することで、身近な場所で美術や文化に触れる機会を設け、美術文化の振興を図ります。
庁舎複合スペース賑わいと交流創出事業 ～カメラまつり～	様々な団体や大学などが中心となって協力し、地域住民主体の、市民自らの手によるまつりの実施により賑わいのある交流の場を創出し、新たなコミュニティの形成・活性化につなげます。

③ 文化活動団体の支援

ア 文化活動団体の支援

芸 術 文 化 団 体	団 体 名	代表者	設立年	会員数
	文 化 協 会 （ 1 6 団 体 ）	内 村 榮 一	S 61 年	999 名
	① 野々市じょんから節保存会	久 保 昇	35 年	70 名
	② 菊 花 協 会	中 川 修	36 年	21 名
	③ 椿 愛 好 会	宮 崎 昭 男	49 年	54 名
	④ 美 術 文 化 協 会	中 野 孝 一	52 年	80 名
	⑤ 音 楽 文 化 協 会	朝 倉 喜 裕	52 年	190 名
	⑥ 華 道 協 会	西 保 淳 甫	53 年	58 名
	⑦ 盆 栽 愛 好 会	山 科 哲 次	54 年	36 名
	⑧ 囲 碁 協 会	大 西 英 明	57 年	86 名
	⑨ 将 棋 協 会	西 本 正 明	58 年	98 名
	⑩ 読 書 会 連 絡 協 議 会	魚 住 慧 子	61 年	26 名
	⑪ 社 交 ダ ン ス 愛 好 会	中 村 三 明	61 年	30 名
	⑫ 民 謡 協 会	山 口 正 昭	H 元 年	80 名
	⑬ 俳 句 協 会	小 林 清	3 年	44 名
	⑭ 茶 道 協 会	安 田 光 男	5 年	88 名
	⑮ 短 歌 協 会	香 城 清 子	7 年	16 名
	⑯ 能 楽 愛 好 会	地 崎 弘 吉	16 年	22 名

イ 子ども文化芸術サークルへの助成

- ・ジュニア太鼓サークル（ののっこ太鼓小嵐）
- ・ジュニア和楽器サークル（じょんからKIDS）
- ・ジュニア絵画サークル（絵画サークルパル）
- ・ののいちジュニアバンド（Jr. サンシャインバンド）
- ・ジュニア能楽サークル（ののいちこども能楽サークル）

ウ 郷土芸能伝承団体への助成

獅子舞 5 団体、野菜みこし、虫送り 16 団体、じょんから踊り 2 団体

VIII. ス ポ ー ツ

1. 基本目標及び基本的施策

(1) 基本目標

生涯スポーツの推進とスポーツ施設の効果的な活用を図り、生涯にわたりあらゆる機会と場において、だれもが参加できるスポーツ活動の推進及び競技スポーツの充実・強化に努めます。

スポーツを通して一人ひとりが健康で豊かな生活を営み、かつ積極的に活力あふれる地域社会の相互連携を構築します。

(2) 基本的施策

① 明るく豊かな生活を支える生涯スポーツの推進

- ・ 市民の健康増進を推進するため、マラソン大会などや充実した各種スポーツイベント（講習会・体力テスト等）の開催に努めます。
- ・ さわやかスポーツフェスティバル、トリプルソフトバレー大会等を通じて、ニュースポーツ・レクリエーションの推進に努めます。
- ・ 市のホームページや広報等を活用した情報発信に努めます。
- ・ スポーツ推進委員の活動強化と資質の向上に努めます。

② 競技スポーツの充実・強化

- ・ 石川県民体育大会上位入賞を目指した競技力の向上に努めます。
- ・ 優秀な選手の発掘や競技力向上のため、指導者の育成に努めます。

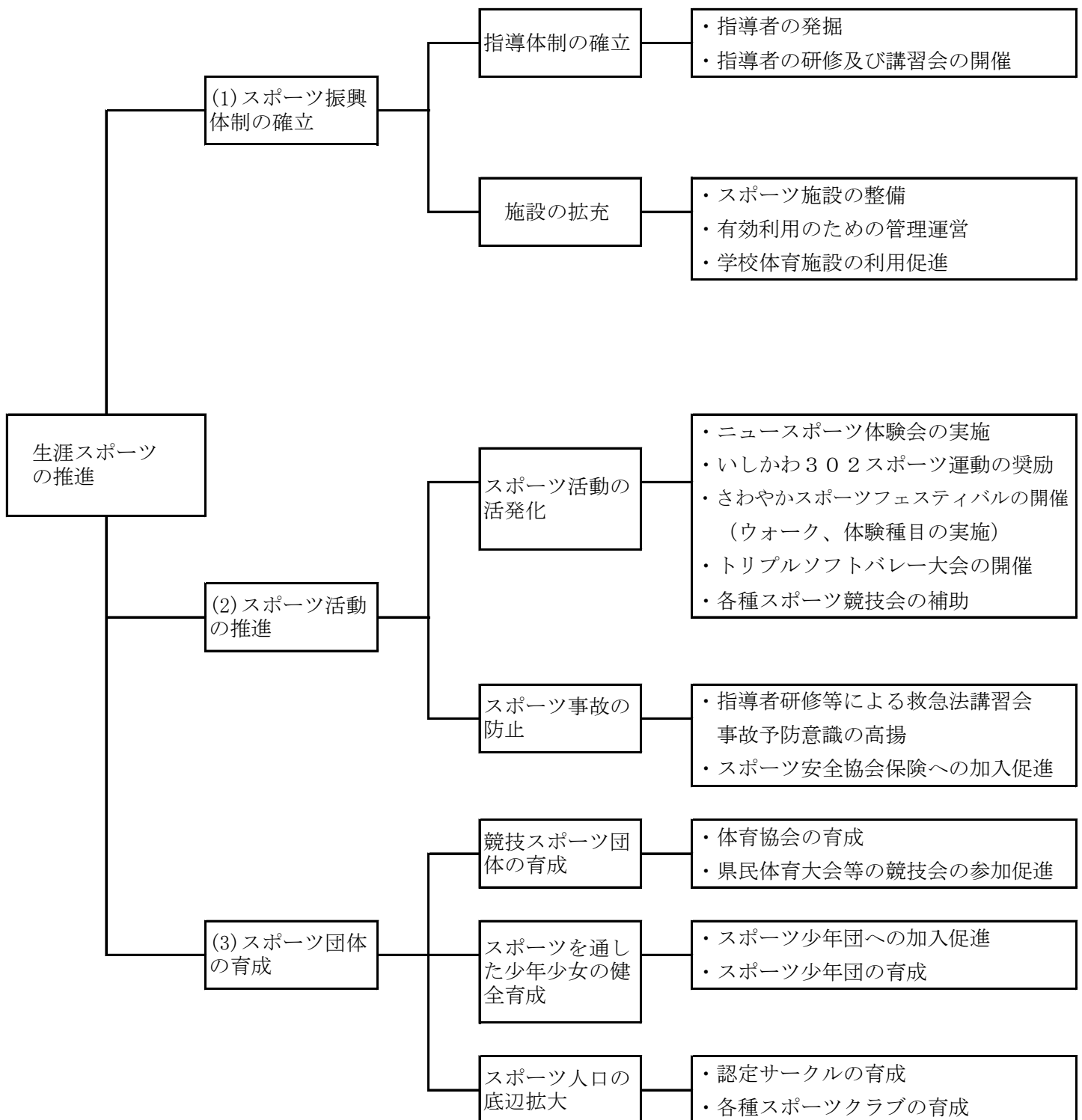
③ スポーツ関係団体の育成によるスポーツ活動の推進

- ・ 体育協会、スポーツ少年団の活動の自主運営に向けた取り組みを推進します。
- ・ スポーツ関係団体、民間のスポーツクラブやスポーツ推進委員協議会との連携を図り、市民の自主的な生涯スポーツ活動への参画を促します。

④ スポーツ施設の設備

- ・ 既存施設（武道館等）の整備に努めます。

2. スポーツ振興施策体系



(1) スポーツ振興体制の確立

① 指導体制の確立

ア スポーツ推進審議会

5月28日（火）

イ スポーツ推進委員協議会

- ・月1回の定例会の開催
- ・市・地域スポーツ事業等への協力
- ・ニュースポーツ体験会の実施

ウ 指導者講習会・研修会の開催

- ・金沢地区スポーツ推進委員研修会

7月6日（土）開催地 石川県津幡漕艇競技場

- ・北陸地区スポーツ推進委員研修会

7月13日（土）～7月14日（日）開催地 富山県南砺市

- ・石川県スポーツ推進委員研修会

12月1日（日）

開催地 石川県金沢市総合体育館



ニュースポーツ体験会

② 施設の拡充

ア スポーツ施設の整備

- ・武道館耐震改修工事
- ・市民体育館、スポーツセンター等区画線修繕
- ・弓道場屋根修繕

イ 体育施設の管理運営

- ・(財) 野々市市公共施設管理事業団を指定管理者として
全体育施設の委託



北陸地区スポーツ推進委員研修会

ウ 学校体育施設の利用促進

- ・学校体育施設開放運営委員会及び
学校体育施設開放指導員打ち合わせ会の開催
4月16日（火）

(2) スポーツ活動の推進

① スポーツ活動の活発化

ア 生涯スポーツ活動推進事業

- ・第17回野々市市小学生相撲大会

5月25日（土） 市相撲場 195名参加



小学生相撲大会

・ さわやかスポーツフェスティバル 2013

6月2日（日）、8日（土）及び9日（日） 市民体育館他 2,086名参加

・ 第32回野々市じょんからの里マラソン大会

10月20日（日） 市内マラソンコース

・ 第5回野々市市トリプルソフトバレー大会

平成26年3月中旬 市民体育館 開催予定

イ スポーツ情報の提供

- ・ スポーツガイドの発行
- ・ チラシ、ポスターの発行による行事案内
- ・ 市広報・ホームページによる行事案内
- ・ えふえむ・エヌ・ワン「ホームタウン野々市」での行事案内



じょんからの里マラソン大会

ウ 全国スポーツ大会等出場選手への助成

- ・ 激励費等の支給

エ 顕 彰

- | | |
|--------------|--------------------|
| ・ 県 関 係 | ・ 生涯スポーツ功労者表彰 |
| | ・ 生涯スポーツ優良団体表彰 |
| ・ 県体育協会関係 | ・ 体育協会功労者表彰 |
| | ・ スポーツ少年団指導育成功労者表彰 |
| ・ 市 関 係 | ・ 特別栄誉表彰 |
| | ・ スポーツ功労表彰 |
| ・ 教育委員会関係 | ・ 教育功労表彰 |
| | ・ 教育振興表彰 |
| ・ 体育協会関係 | ・ 体育功労賞 |
| | ・ スポーツ賞 |
| | ・ スポーツ奨励賞 |
| ・ スポーツ少年団関係 | ・ 特別功労者表彰 |
| | ・ 功労者表彰 |
| | ・ 優秀クラブ表彰 |
| ・ スポーツ推進委員関係 | ・ 県スポーツ推進委員協議会表彰 |

② スポーツ事故の防止

- ・ 各種スポーツ団体へのスポーツ安全協会保険加入促進
 - ・ スポーツ傷病の予防と応急手当講習会
- 12月開催予定



テーピング実技

(3) スポーツ団体の育成

① 競技スポーツ団体の育成

ア 体育協会 29団体（さわやかスポーツフェスティバルへの積極参加及び各種大会参加に向けた競技力の向上並びにスポーツの普及）

- ・第65回石川県民体育大会 夏季大会

8月10日（土）・11日（日） 加賀市、小松市、能美市、川北町を主会場

- ・第66回石川県民体育大会 冬季大会

平成26年2月末予定 白山市

- ・競技強化委員会による競技力の向上

- ・市民を対象としたスポーツ教室の開催（弓道、トランポリン、グラウンド・ゴルフ等）

② スポーツを通した少年少女の健全育成

ア スポーツ少年団16クラブ（少年少女の健全育成、スポーツ人口の底辺拡大）

- ・指導者・保護者研修会

6月15日（土）市民体育館会議室

- ・清掃奉仕活動

6月下旬～ 市内各小学校他

- ・体力テスト会

12月1日（日） 市民体育館

- ・リーダー研修会

平成26年1月18日（土）・19日（日） 白山青年の家

- ・総合交歓会

平成26年2月23日（日） 市民体育館



体力テスト会



リーダー研修会

イ 各種団体

- ・スポーツ連盟クラブ 3団体

- ・認定サークル

一般スポーツクラブ 35団体

高齢者スポーツクラブ 2団体



石川県民体育大会 夏季大会結団式



石川県民体育大会 冬季大会

ウ スポーツ団体一覧

a 体育協会加盟団体

	協 会 名	代 表 者 名	加 盟 年 月
1	野々市市バレーボール協会	長谷川 歩	昭和49年10月
2	野々市市剣道協会	内山利明	昭和48年8月
3	野々市市陸上競技協会	目名 進	昭和48年4月
4	野々市市卓球協会	松田秀明	昭和50年10月
5	野々市市弓道協会	本多郁夫	昭和49年12月
6	野々市市ソフトボール協会	西本浩二	昭和50年4月
7	野々市市クレール射撃協会	島崎晃次	昭和50年4月
8	野々市市ボウリング協会	山崎 茂	昭和50年6月
9	野々市市野球協会	安田彦三	昭和52年4月
10	野々市市バスケットボール協会	中村義彦	昭和52年10月
11	野々市市テニス協会	美谷悦郎	昭和55年4月
12	野々市市バドミントン協会	土田友雄	昭和55年3月
13	野々市市スキー協会	中山 巖	昭和55年11月
14	野々市市ソフトテニス協会	橘 里志	昭和57年1月
15	野々市市空手道協会	大鋸 鐵	昭和57年4月
16	野々市市相撲連盟	田中昭一	昭和57年7月
17	野々市市トランポリン協会	吉田 修	昭和58年6月
18	野々市市サッカー協会	高谷進二郎	昭和59年4月
19	野々市市水泳協会	平野政昭	昭和59年4月
20	野々市市ゲートボール協会	北出武夫	昭和59年4月
21	野々市市柔道協会	田中教崇	昭和61年3月
22	野々市市山岳協会	吉田 修	平成元年4月
23	野々市市グラウンドゴルフ協会	安嶋 一夫	平成4年4月
24	野々市市ゴルフ協会	魚住正栄	平成4年4月
25	野々市市太極拳協会	高野 晃	平成14年1月
26	野々市市ラグビーフットボール協会	水口政尚	平成15年4月
27	野々市市パークゴルフ協会	岡本 正	平成18年4月
28	野々市市少林寺拳法協会	石原 晋	平成19年4月
29	野々市市バウンドテニス協会	吉田 修	平成24年10月

b スポーツ少年団加盟団体

No.	団 体	発足年度	No.	団 体	発足年度
1	剣 道 ス ポ ー ツ 少 年 団	昭和48年	9	御園ミニバスケットボールクラブ	昭和56年
2	柔 道 ス ポ ー ツ 少 年 団	昭和54年	10	菅 原 学 童 野 球 ク ラ ブ	昭和57年
3	少 年 少 女 ト ラ ン ポ リ ン ク ラ ブ	昭和56年	11	菅 原 少 年 サ ッ カ ー ク ラ ブ	昭和58年
4	野々市ジュニアバドミントンクラブ	昭和61年	12	菅原ミニバスケットボールクラブ	昭和59年
5	野々市学童野球クラブ	昭和56年	13	富 陽 学 童 野 球 ク ラ ブ	昭和63年
6	野々市ジュニアサッカークラブ	平成2年	14	富 陽 サ ッ カ ー ク ラ ブ	昭和62年
7	野々市ミニバスケットボールクラブ	平成2年	15	館 野 学 童 野 球 ク ラ ブ	昭和59年
8	御 園 学 童 野 球 ク ラ ブ	昭和55年	16	館野ミニバスケットボールクラブ	昭和59年

c スポーツ連盟

● ソフトボール連盟 7チーム

クラブ名	対 象	クラブ名	対 象
住 吉 ク ラ ブ	一 般	ピ ン ク パ ン サ ー	一 般
シ マ ハ タ 通 商	〃	栗 田 ソ フ ト ボ ー ル ク ラ ブ	〃
花 の 木 ク ラ ブ	〃	オ ク タ カ ダ ッ チ ャ ン ズ	〃
セ ン チ ュ リ ー 2 1	〃		

● 壮年ソフトボールクラブ 8チーム

クラブ名	対 象	クラブ名	対 象
あやめレインボークラブ	一般壮年男子	新庄壮年ソフトボールクラブ	一般壮年男子
栗 田 壮 年 ソ フ ト ク ラ ブ	〃	稲 荷 壮 年 ソ フ ト ボ ー ル ク ラ ブ	〃
太平寺壮年ソフトボールクラブ	〃	エ レ フ ァ ン ト	〃
の ら く ろ ク ラ ブ	〃	位 川 ソ フ ト ボ ー ル ク ラ ブ	〃

● 早朝日曜野球連盟 8チーム

クラブ名	対 象	クラブ名	対 象
ツ イ ス タ ー	一 般	野々市スパローズ	一 般
M N O	〃	野々市市役所	〃
ブ ル ー ダ ン サ ー ズ	〃	石 さ ん	〃
栗 田 ク ラ ブ	〃	高 桑 美 術 印 刷	〃

d 市内スポーツクラブ・サークル

《女性対象》 (14クラブ)

クラブ名	活動内容	代表者	活動場所
レ デ ィ ー ス 野 ヶ 市	軽スポーツ	竹田 優子	市民体育館
野 ヶ 市 卓 球 ク ラ ブ	卓球	宮岸 外喜子	市民体育館
野 ヶ 市 レ イ ン ボ ー	トランポリン	山口 博子	市民体育館
野々市バドミントンクラブ	バドミントン	山原 美智子	野々市中学校 市民体育館 スポーツセンター
風 雅	エアロビック教室	橋野 和代子	スポーツセンター
ボ デ イ A	健康増進の為の運動	二木 あい	スポーツセンター
S ・ C ・ D マ リ ー ゴ ー ル ド	スコティッシュカントリーダンス	無量井 澄子	スポーツセンター
野々市レディーススイミングクラブ	水泳	桑野 しのぶ	スポーツランドプール
ア ク ア ビ ク ス 2 0 0 0	水中エアロビクス	北川 百合子	スポーツランドプール
T ・ V ・ C	バレーボール	坂尻 悦子	菅原小学校
サ ク セ ス	バレーボール	蒲生 英子	菅原小学校
み そ の ク ラ ブ	バレーボール	村 和子	御園小学校
W E E D	バスケットボール	小竹 忍	野々市小学校
N ' w i t h	バレーボール	永井 博美	富陽小学校

《一般対象》 (21クラブ)

クラブ名	活動内容	代表者	活動場所
フレッシュテニスクラブ 茜	フレッシュテニス	松田 健二	市民体育館
野々市市トランポリン愛好会	トランポリン	横浜 猛夫	市民体育館
グ リ ッ プ ク ラ ブ	バドミントン	長永 紀夫	市民体育館
フ ァ イ ヤ ー ・ ク ロ ス	ソフトバレーボール	池田 美千代	市民体育館
タ ウ ン ビ ー ト	ジャズダンス	源田 葉子	スポーツセンター
プ テ ィ ・ エ ト ワ ー ル	クラシックバレエ	堂下 美代	スポーツセンター
野々市太極拳クラブ	武術太極拳	高野 晃	スポーツセンター
野々市クラブ	バスケットボール	中村 義彦	野々市小学校 スポーツセンター
野々市サッカークラブ	サッカー	河智 淳	布水中学校 富陽小学校
館野バドミントンサークル	バドミントン	坂戸 耕洋	館野小学校
び ゅ あ ー ズ	ソフトバレーボール	中島 哲也	御園小学校
野々市空手クラブ	空手道	上田 侑弘	武道館
少林寺拳法石川野々市クラブ	少林寺拳法	石原 晋	武道館
野々市走ろう会	ジョギング	目名 進	フォルテ周辺
野々市市スノーボード協会	スノーボード	殿村 和也	白山麓スキー場
w i l l	トリムバレーボール	中條 久美子	野々市中学校
楽 し い 山 の 会	登山	上野 喜紹	県内外の山
日本空手協会野々市道場	空手道	谷川 典生	館野小学校 富陽小学校
空手野々市クラブ	空手道	出口 正人	富陽小学校
野々市ウキウキ・ウォーキング	ウォーキング	村西 賢二	あらみや公園周辺
武 道 エ ク サ サ イ ズ	武道エクササイズ	安川 千鶴	館野小学校

《高齢者対象》 (2クラブ)

クラブ名	活動内容	代表者	活動場所
野々市若葉健康クラブ	軽スポーツ等	山森 義之	市民体育館
野々市椿健康クラブ	軽スポーツ等	田川 修身	スポーツセンター

3. 体育施設

(1) 社会体育施設

① 施設概要

単位：㎡

施設名	位置	規模	施設内容	完成年月日
野々市市民体育館	下林三丁目97	4,433 駐車場 2,303	大体育室 (42.40m×34.45m) 小体育室 (22.00m×13.50m) トレーニング室 ランニングコース (1周148m) 会議室	昭和55年11月30日
野々市市武道館	位川183	1,072	柔道場 (14.92m×18.42m) 剣道場 (14.92m×22.10m) 研修室	昭和53年1月12日
野々市市弓道場	太平寺三丁目 126-1	170.91	射場棟 (89.43㎡) 的場棟 (26.75㎡) トイレ木造平屋建	昭和56年9月30日 平成22年3月25日
野々市市民野球場	下林三丁目97	14,754	両翼91.5m 中堅120m 管理棟スコアボード 内野スタンド 1,300人 } 収容 外野スタンド 1,600人 夜間照明 (12,778㎡) 内野 (1,150ルクス) 外野 (600ルクス) 照明塔 (6基) 野球・ソフトボール投球練習用 2面	昭和61年9月29日
雨天練習場		168 駐車場 822		昭和62年12月15日
野々市市相撲場	下林三丁目97	886	入母屋型屋根付 (照明有) 観客約400席	昭和63年8月31日
野々市中央公園 テニスコート	下林三丁目97	1,600	全天候型コート 2面 夜間照明 被照明面積 (1,600㎡) 平均照度 (250ルクス) 照明塔 (4基)	昭和55年3月30日
野々市中央公園 運動広場	下林三丁目97	9,123	ソフトボール場 1面 夜間照明 被照明面積 (8,000㎡) 平均照度 (350ルクス) 照明塔 (6基)	昭和55年11月30日
ジョギングコース	下林三丁目		ジョギングコース ブルーコース 1,200m レッドコース 900m イエローコース 500m	平成2年3月26日
野々市市健康広場	上林一丁目 180	16,713	ソフトボール場 2面 ジュニア用サッカー場 1面 管理棟	昭和53年3月30日
押野中央公園 運動広場	押野一丁目 339	5,860	ソフトボール場 1面	昭和61年3月25日

野々市市 スポーツランド	中林五丁目 1-1	25, 276	○プール 研修室 40名収容 競泳用温水プール 25m×15m 児童用温水プール 10.5m×6.3m トレーニングプール、ジャグジー プール ウォーターアスレチックプール 16m×22m 流水プール 72m×5m ○さわやかホール クレー舗装ゲートボールコート 2面 ○テニスコート 砂入り人工芝コート 4面 〃 壁打ちコート 1面 夜間照明 被照明面積 2,700㎡ 平均照度 350ルクス 照明塔 20基 ○ふれあい広場 芝張り多目的広場 3,713㎡	平成4年3月25日
野々市市 スポーツセンター	押野二丁目30	5, 542	アリーナ (44.5m×33.4m) サブアリーナ (22.6m×12.3m) ランニングコース (1週160m) トレーニングルーム 会議室	平成3年11月29日

② 施設の利用状況

平成24年度野々市町体育施設の利用状況及び使用料報告

単位：人、円

施設名	利用件数	利用者総数	使用料
市民体育館	33,287	68,734	956,600
市民体育館（回数券）			80,000
市民野球場	586	14,658	1,175,700
中央公園テニスコート	783	2,124	630,250
スポーツセンター	29,048	66,929	1,542,425
スポーツセンター（回数券）			252,000
武道館	975	17,021	91,350
弓道場	3,813	6,080	0
中央公園運動広場	285	14,769	307,125
押野中央公園運動広場	210	7,023	202,125
健康広場	149	6,347	234,500
相撲場	2	341	0
スポーツランド・テニスコート	5,887	14,102	2,460,200
スポーツランド・さわやかホール	1,569	14,930	642,350
スポーツランド・プール	44,861	52,193	6,373,650
スポーツランド・研修室	22	179	300
スポーツランド（回数券）			66,950
合 計	121,477	285,430	15,015,525

(2) 学校体育開放施設

① 施設概要及び利用について

施設名		使用できる時間		利用の範囲等
野々市中学校	運動場	日曜日 午前8時30分～日没		社会教育関係団体のスポーツ活動 登録スポーツクラブ・連盟活動
	運動場 夜間照明	平日 午後7時～午後9時		
	体育館	午後7時～午後9時30分		登録スポーツクラブ活動を原則とします。
布水中学校	運動場	日曜日 午前8時30分～日没		社会教育関係団体のスポーツ活動 登録スポーツクラブ・連盟活動
	運動場 夜間照明	平日 午後7時～午後9時		
野々市小学校	運動場	平日 午後4時～日没 土曜日 午前9時～日没 日曜日 午前9時～日没	少年のスポーツ活動 社会教育関係団体のスポーツ活動	
	体育館	平日 午後4時～午後9時30分 土曜日 午前9時～午後9時30分 日曜日 午前9時～午後5時	登録スポーツクラブ、少年のスポーツ活動、 社会教育関係団体行事を原則とします。	
御園小学校	運動場	平日 午後4時～日没 土曜日 午前9時～日没 日曜日 午前9時～日没	少年のスポーツ活動 社会教育関係団体のスポーツ活動 遊び場開放	
	体育館	平日 午後4時～午後9時30分 土曜日 午前9時～午後9時30分 日曜日 午前9時～午後5時	登録スポーツクラブ、少年のスポーツ活動、 社会教育関係団体行事を原則とします。	
菅原小学校	運動場	平日 午後4時～日没 土曜日 午前9時～日没 日曜日 午前9時～日没	少年のスポーツ活動 社会教育関係団体のスポーツ活動 遊び場開放	
	体育館	平日 午後4時～午後9時30分 土曜日 午前9時～午後9時30分 日曜日 午前9時～午後5時	登録スポーツクラブ、少年のスポーツ活動、 社会教育関係団体行事を原則とします。	
富陽小学校	運動場	平日 午後4時～日没 土曜日 午前9時～日没 日曜日 午前9時～日没	登録スポーツクラブ、少年のスポーツ活動 社会教育関係団体のスポーツ活動 遊び場開放	
	体育館	平日 午後4時～午後9時30分 土曜日 午前9時～午後9時30分 日曜日 午前9時～午後5時	登録スポーツクラブ、少年のスポーツ活動、 社会教育関係団体行事を原則とします。	
館野小学校	運動場	平日 午後4時～日没 土曜日 午前9時～日没 日曜日 午前9時～日没	少年のスポーツ活動 社会教育関係団体のスポーツ活動 遊び場開放	
	体育館	平日 午後4時～午後9時30分 土曜日 午前9時～午後9時30分 日曜日 午前9時～午後5時	登録スポーツクラブ、少年のスポーツ活動、 社会教育関係団体行事を原則とします。	
※ 但し、使用できる日時については上記以外に学校教育上支障がないと認められた場合においては使用することができる。 全施設とも12月28日～1月4日は使用不可。				

② 利用状況

平成24年度 学校体育施設開放利用状況

H24年4月～H25年3月																			
		スポーツ少年団		一 般 ク ラ ブ		ナイターソフト連盟		社会教育関係		町 内 会 等		市教育委員会関係等		スポーツ講習会・教室		そ の 他		合 計	
		件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
野々市小	運動場	224	6,859					4	1,810							2	100	230	8,769
	体育館	219	6,841	60	882			1	110									280	7,833
	小体育館																		
御園小	運動場	116	3,515					4	1,650							4	2,200	124	7,365
	体育館	250	6,514	153	1,921			11	515									414	8,950
	小体育館																		
菅原小	運動場	205	5,066															205	5,066
	体育館	241	6,071	122	1,819			1	306									364	8,196
	ブレイルーム																		
	小体育館																		
富陽小	運動場	285	8,290					2	1,900			1	60					288	10,250
	体育館	34	876	151	2,529			2	391									187	3,796
	ブレイルーム																		
館野小	運動場	129	3,951					2	950									131	4,901
	体育館	172	5,294	111	2,161			1	306									284	7,761
	ブレイルーム																		
野々市中	運動場	3	450													19	1,900	22	2,350
	体育館	1	20	127	2,179													128	2,199
布水中	運動場			80	1,258	62	1,640											142	2,898
	体育館																		
	プール																		
小 計	運動場計	962	28,131	80	1,258	62	1,640	12	6,310			1	60			25	4,200	1,142	41,599
	体育館計	917	25,616	724	11,491			16	1,628									1,657	38,735
	小体育館計																		
	ブレイルーム計																		
	プール計																		
総 合 計		1,879	53,747	804	12,749	62	1,640	28	7,938			1	60			25	4,200	2,799	80,334

各種委員会委員等

市 特 別 職

市 長	栗 貴 章
副 市 長	田 中 宣

教 育 委 員

委 員 長	北 本 正
職 務 代 理	徳 田 寿 秋
委 員	荻 野 直 子
〃	中 野 恵美子
〃	松 野 勝 夫
委員（教育長）	堂 坂 雅 光

野々市市就学指導委員会

委 員 長	浅 井 恭 一	
委 員	中 村 英 夫	
〃	岩 原 真由美	
〃	西 村 優紀美	
〃	榊 原 清 志	(野々市小学校)
〃	池 岸 晃 弘	(御園小学校)
〃	上 林 泰 子	(菅原小学校)
〃	濱 田 利 幸	(富陽小学校)
〃	紺 村 和 也	(館野小学校)
〃	橋 口 有 康	(野々市中学校)
〃	禾 几 文 明	(布水中学校)
〃	東 田 敏 彦	(子育てあんしん課長)
〃	南 川 陽 子	(御経塚保育園長)
〃	北 一 也	(学校教育課長)

野々市市教育センター運営協議会

会 長	西 村 優紀美	
副 会 長	紺 村 和 也	(館野小学校)
委 員	松 本 賢 二	(菅原小学校)
〃	小 坂 ひろみ	
〃	肥 田 千 春	(健康推進課長)

社会教育委員会

議 長	山 本 邦 継	
委 員	禾 几 文 明	(布水中学校)
	内 村 榮 一	
〃	内 村 昭 夫	(市子ども会育成連絡協議会)
〃	北 川 千 里	
〃	桑 村 佐和子	
〃	榊 原 清 志	(野々市小学校)
〃	西 脇 孝 二	
〃	藤 多 典 子	
〃	星 野 均	(P T A 連 合 会)
〃	宮 川 涉	
〃	吉 道 悦 子	

公 民 館 長 等

中 央 公 民 館	田多野 和 彦
野々市公民館	笠 間 悟
富 奥 公 民 館	西 本 正 明
郷 公 民 館	中 村 一 好
押 野 公 民 館	亥 野 正 治
少年育成センター	山 本 邦 継
女性センター	大 村 礼 子

公民館運営審議会

中央公民館

委 員

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

上 野 弘 子
内 村 昭 夫
岡 本 正
上 林 泰 子
高 田 幸 一
東 正 俊
藤 田 雅 顯
藤 力
帆 苅 宏 典
松 本 智 子

(菅原小学校)

野々市公民館

委 員

〃

〃

〃

黒 保 悦 子
柳 原 清 志
谷 川 典 生
田 中 陽 子
藤 力

(野々市小学校)

富奥公民館

委 員

〃

〃

〃

〃

岡 本 正
栗 山 源一郎
辻 まさ子
西 村 信 夫
濱 田 利 幸

(富陽小学校)

郷公民館

委 員

〃

〃

〃

池 岸 晃 弘
岡 田 充 晴
谷 本 紀 子
西 村 裕 之
東 正 俊

(御園小学校)

押野公民館

委 員

〃

〃

〃

加 藤 靖 二
紺 村 和 也
廣 畑 真 紀
藤 田 雅 顯
吉 田 雅 明

(館野小学校)

図書館協議会

委	員	帆	苺	宏	典
	〃	魚	住	慧	子
	〃	川	上	秀	子
	〃	中	村	恵	子
	〃	松	本	哲	幸
	〃	柳	井	清	治

女性センター運営委員会

委	員	黒	部	美恵子
	〃	福	井	満佐美
	〃	村	上	治 美
	〃	村	上	他喜子
	〃	山	口	知 子

青少年問題協議会

会	長	栗	貴	章	(市長)
委	員	絹川	博		(民生・主任指導委員)
		芝田	公美		(野々市明倫高等学校)
	〃	辻	禎弘		(PTA連合会)
	〃	寺岡	敏彦		(保護司会)
	〃	橋口	有康		(野々市中学校)
	〃	濱田	利幸		(富陽小学校)
	〃	副田	千恵子		(女性協議会)
	〃	藤田	雅顯		(連合町内会)
	〃	宮崎	昭男		(社会福祉協議会)
	〃	望月	昇		(石川中央保健福祉センター)
	〃	村本	悟		(白山警察署)
	〃	山本	邦継		(社会教育委員)
	〃	堂坂	雅光		(教育長)
	〃	中村	彰		(健康福祉部長)
	〃	寺尾	庄司		(教育文化部長)
幹	事	北	一也		(学校教育課長)
	〃	桵谷	泰裕		(生涯学習課長)

少年育成センター運営協議会

会	長	絹川	博		
副	会	廣谷	良弘		(野々市中学校)
委	員	荒木	俊雄		
	〃	稲村	佐紀子		
	〃	上杉	正人		(野々市明倫高等学校)
	〃	漆原	伸秀		
	〃	岡田	實		
	〃	佐々木	清嗣		(布水中学校)
	〃	中村	行也		
	〃	八田	浩志		
	〃	松生	一行		(野々市交番)
	〃	松下	浩一		(野々市小学校)
	〃	宮前	克		
	〃	山本	善明		(学校教育課)

文化財保護審議会

会	長	徳	田	寿	秋
委	員	三	浦	純	夫
	〃	北	春	千	代
	〃	小	林	忠	雄
	〃	木	越	隆	三

スポーツ推進審議会

会	長	山	口	直
副	会	森	田	敦
委	員	橋	本	孝
	〃	南	部	直
	〃	牧	口	茂
				枝
				子

学校体育施設開放運営委員会

委	員	廣	谷	良	弘	(野々市中学校)
		佐々	木	清	嗣	(布水中学校)
		松	下	浩	一	(野々市小学校)
		久	保	幸	恵	(御園小学校)
		鶴	岡	恒	久	(菅原小学校)
		栗	山	雅	子	(富陽小学校)
		石	津	賢	二	(館野小学校)
		西	村	敬	司	
		亀	田	美	幸	
		塚	崎	裕	康	
		近	藤	龍	二	
		山	崎	哲	也	
		鈴	木	信	行	
		西	谷	真知	子	
		押	田	克	夫	
		坂	尻	悦	子	
		橋	本		孝	

スポーツ推進委員協議会

会	長	長	谷川	芳	彦
副	会	長	西	野	辰雄
			長	田	正子
委	員		安	中	秀行
			森	岡	孝之
			永	井	敏昌
			蒲		博幸
			沢	口	了章
			亥	野	正治
			田	圃	俊彦
			市	本	仁子
			黒	瀬	千代子
			一ノ	谷	美知子
			西	谷	真知子
			川	井	智子
			高	坂	良恵
			畠		紀子
			竹	田	優子
			塚		弘子

市立学校長等

野々市小学校	校長	榑原清志	教頭	松下浩一
御園小学校	〃	池岸晃弘	〃	久保幸恵
菅原小学校	〃	上林泰子	〃	鶴岡恒久
富陽小学校	〃	濱田利幸	〃	栗山雅子
館野小学校	〃	紺村和也	〃	石津賢二
野々市中学校	〃	橋口有康	〃	廣谷良弘
布水中学校	〃	禾几文明	〃	佐々木清嗣

他市内学校長等

北陸学院扇が丘幼稚園	園長	楠本史郎
青竜第二幼稚園	〃	和田節子
石川県立野々市明倫高等学校	校長	藺森喜美
石川県立明和特別支援学校	〃	北元和洋
石川県公立大学法人石川県立大学	学長	熊谷英彦
金沢工業高等専門学校	校長	山田弘文
金沢工業大学	学長	石川憲一

歴 代 教 育 委 員

氏 名	就任年月日	退任年月日	備 考
中 島 栄 治	31. 10. 1	34. 1. 31	委員長 31. 10. 1～34. 1. 31
福 田 栄 正	31. 10. 1	32. 9. 30	
西 村 伸一郎	31. 10. 1	42. 9. 30	委員長 34. 2. 1～42. 9. 30
中 川 直 二	31. 10. 1	47. 3. 31	委員長 42. 10. 1～47. 3. 31
松 崎 時 哉	31. 10. 1	35. 9. 30	教育長
中 山 知 二	32. 10. 1	36. 3. 31	
河 村 好一郎	34. 4. 1	46. 3. 29	
長 田 健	35. 10. 1	37. 10. 28	教育長
小 柳 正 明	36. 4. 1	47. 3. 9	
竹 内 保 之	37. 12. 18	46. 12. 16	教育長
中 野 栄 吉	42. 10. 1	46. 9. 30	
中 野 久 男	46. 6. 11	59. 9. 30	委員長 47. 4. 1～51. 9. 30
宮 前 和 夫	46. 10. 1	58. 9. 30	委員長 51. 10. 1～55. 9. 30
中 田 哲	46. 12. 24	51. 9. 30	教育長
魚 住 正 元	47. 3. 10	51. 3. 12	
岡 田 一 郎	47. 6. 30	57. 9. 30	委員長 55. 10. 1～57. 9. 30
絹 川 清	51. 3. 12	54. 12. 20	
埜 谷 博	51. 10. 1	55. 9. 30	教育長 (就任 51. 10. 7)
宮 岸 光	54. 12. 21	6. 5. 26	委員長 57. 10. 1～61. 9. 30
東 谷 弘	55. 10. 1	8. 9. 30	教育長
坂 本 六 郎	57. 10. 1	6. 9. 30	委員長 61. 10. 1～ 2. 9. 30
木 村 博	58. 10. 1	62. 9. 30	
高 桑 繁	59. 10. 1	12. 9. 30	委員長 2. 10. 1～ 6. 9. 30
矢 野 喜一郎	62. 10. 1	7. 9. 30	委員長 6. 10. 1～ 7. 9. 30
喜 多 禎 一	6. 6. 20	21. 9. 30	委員長 7. 10. 1～11. 9. 30
清 水 外司英	6. 10. 1	22. 9. 30	委員長 11. 10. 1～15. 9. 30
宮 前 定 夫	7. 10. 1	14. 9. 30	
田 村 昌 俊	8. 10. 1	16. 9. 30	教育長
北 本 正	12. 10. 1	在 任 中	委員長 15. 10. 1～
鶴 見 光 男	14. 10. 1	19. 9. 30	
田 中 宣	16. 10. 1	20. 3. 30	教育長
徳 田 寿 秋	19. 10. 1	在 任 中	
村 上 維 喜	20. 3. 31	24. 9. 30	教育長
荻 野 直 子	20. 10. 1	在 任 中	
中 野 恵美子	21. 10. 1	在 任 中	
松 野 勝 夫	22. 10. 1	在 任 中	
堂 坂 雅 光	24. 10. 1	在 任 中	教育長

市内施設住所・電話番号一覧

名 称	住 所	電話番号	名 称	住 所	電話番号
公 共 施 設			㊦富 陽 小 学 校	野々市市中林五丁目 70	246-4380
①野々市市役所	野々市市三納一丁目 1	227-6000	㊧館 野 小 学 校	押 野 三 丁 目 7 1	248-0622
①野々市市教育委員会	〃	227-6111	㊨野々市中学校	三 納 三 丁 目 1	246-0115
①野々市市情報交流館	〃	227-6200	①布 水 中 学 校	押 野 二 丁 目 1 0 0	248-0039
②野々市市東部浄水場	高 橋 町 3 - 3 3	—	①県立明和特別支援学校	中 林 四 丁 目 7 0	246-1133
③野々市市南部・北部浄水場	新 庄 二 丁 目 2 2	—	㊩県立野々市明倫高等学校	下 林 三 丁 目 3 0 9	246-3191
④野々市市文化会館	本 町 五 丁 目 4 - 1	248-8000	①石 川 県 立 大 学	末 松 一 丁 目 3 0 8	227-7220
⑤野々市市教育センター	本 町 四 丁 目 21-27	248-8456	㊪金 沢 工 業 大 学	扇 が 丘 7 - 1	248-1100
⑤野々市市少年育成センター	〃	294-8815	㊫野々市市学校給食センター	太平寺三丁目 126-1	246-3066
⑥野々市市スポーツセンター	押 野 二 丁 目 3 0	294-5511	社 会 福 祉 施 設		
⑦野々市市中央公民館	本 町 二 丁 目 1-20	248-0521	㊬中 央 保 育 園	本 町 三 丁 目 2 - 2 2	248-0240
⑦野々市市野々市公民館	〃	248-0521	④富 奥 保 育 園	中 林 五 丁 目 3 0	248-0828
⑧野々市市立図書館	本 町 二 丁 目 14-6	248-8099	㊭押 野 保 育 園	押 野 三 丁 目 1 1 5	248-0343
⑨野々市市富奥公民館	中 林 五 丁 目 3	248-0829	野々市市押野児童館	〃	248-9666
⑩野々市市郷公民館	田 尻 町 9 4	248-0250	㊮御 経 塚 保 育 園	御 経 塚 一 丁 目 2 8 8	248-0181
⑪野々市市押野公民館	押 野 三 丁 目 7 0	248-2839	④あ わ だ 保 育 園	栗 田 五 丁 目 3 3 0	246-3737
⑫野々市市青少年センター	住 吉 町 1 7 - 1 0	246-0250	㊯ほ り う ち 保 育 園	堀 内 四 丁 目 1 6 0	248-2320
⑬末 松 廃 寺 収 蔵 庫	末 松 二 丁 目		㊰あ す な る 保 育 園	御 経 塚 五 丁 目 3 0	246-0211
⑭野々市市埋蔵文化財収蔵庫	御 経 塚 一 丁 目 1 8 2	246-0133	㊱は く さ ん 保 育 園	白 山 町 4 - 2	248-4337
⑭野々市市ふるさと歴史館	〃	246-0133	㊲和 光 第 二 保 育 園	扇 が 丘 1 5 - 5	248-6250
⑮野々市市郷土資料館	本 町 三 丁 目 19-24	246-2672	㊳つ ば き 保 育 園	太 平 寺 一 丁 目 3 0 2	248-1155
⑯野々市市武道館	位 川 1 8 3	246-4985	㊴子 育 て 支 援 セ ン タ ー 菅 原	菅 原 町 8 - 3 3	248-4634
⑰野々市市民体育館	下 林 三 丁 目 9 7	248-1223	㊵エ ン ジ ェ ル 保 育 園	本 町 六 丁 目 2 2 - 1	248-2888
⑱野々市中央公園テニスコート	〃	〃	㊶ふ じ ひ ら 保 育 園	藤 平 1 4 2	246-1181
⑲野々市中央公園運動広場	〃	〃	㊷野々市市保健センター	三 納 三 丁 目 1 2 8	248-3511
⑳野々市市相撲場	〃	〃	㊸社 会 福 祉 法 人 野々市市社会福祉協議会	本 町 五 丁 目 1 8 - 5	246-0112
㉑野々市市民野球場	〃	〃	㊹野々市市老人福祉 セ ン タ ー 椿 荘	矢 作 三 丁 目 1 - 2	246-5570
㉒欠番			㊺野々市市中央児童館	〃	248-5325
㉓野々市市弓道場	太平寺三丁目 126-1	248-0067	㊻野々市デイサービスセンター	矢 作 三 丁 目 3	248-9900
㉔野々市市健康広場	上 林 一 丁 目 1 8 0	248-1223	㊼野々市市本町児童館	本 町 三 丁 目 1 0 - 1 2	246-3881
㉕野々市市スポーツランド	中 林 五 丁 目 1 - 1	294-5800	①野々市市女性センター	稲 荷 四 丁 目 1 5 5	246-0810
㉖押野中央公園運動広場	押 野 一 丁 目 1 8 0	248-1223	④石 川 県 百 々 鶴 荘	上 林 一 丁 目 1 7 9	248-4775
㉗野々市市交遊舎	二 日 市 一 丁 目 2	294-8166	㊽セ ル プ は く さ ん	末 松 二 丁 目 2 2 9	248-9300
㉘白山警察署野々市交番	本 町 六 丁 目 2 2 - 2	248-0059	㊾欠番		
㉙白山警察署野々市南交番	藤 平 1 3 8 - 1	294-1500	㊿石川障害者職業能力開発校	末 松 二 丁 目 2 4 5	248-2235
㉚白山野々市広域事務組合 野々市消防署	本 町 五 丁 目 1 7 - 8	248-9119	㊿サニーマイト福祉工場	末 松 二 丁 目 2 3 9	248-0294
㉛J R 野々市駅	二 日 市 町 1 - 1	248-0100	㊿石川県としよりと 子 供 の 健 康 ひ ろ ば	上 林 二 丁 目 1 8 5	246-0130
㉜公益社団法人野々市市 シルバー人材センター	白 山 町 8 - 1 5	294-8303	㊿と き わ 病 院	中 林 四 丁 目 1 2 3	248-5221
㉝野々市市防災コミュニティセンター	本 町 一 丁 目 2 - 5 0	—	㊿け や き 野 苑	中 林 一 丁 目 1 - 1	248-4871
㉞のいちし地域安全センター	扇 が 丘 9 7 - 6	248-3412	㊿特 別 養 護 老 人 ホ ー ム 富 樫 苑	中 林 四 丁 目 6 2	248-8765
学 校 施 設			㊿野々市市いきがいセンター矢作	矢 作 三 丁 目 2 - 1 0	246-2007
㊿北陸学院扇が丘幼稚園	本 町 五 丁 目 6 - 2 3	248-1501	㊿野々市市いきがい セ ン タ ー 御 経 塚	御 経 塚 一 丁 目 3 8	248-2231
㊿青 竜 第 二 幼 稚 園	上 林 三 丁 目 1 6 7	248-5656	㊿ふじひら児童館	藤 平 1 4 6	214-6125
㊿野々市小学校	本 町 五 丁 目 3 - 1	248-0084	㊿アリス保育園	二 日 市 町 6 5 街 区 2	294-2525
㊿御 園 小 学 校	稲 荷 四 丁 目 1 2 8	248-3201	㊿つばきの郷児童館	二 日 市 町 6 5 街 区 1	248-2111
㊿菅 原 小 学 校	菅 原 町 2 0 - 1	246-6066			



市内施設配置図

